

2020年度 社会福祉法人愛隣園事業報告書

1. 法人の基本理念

「自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ」

聖書 ルカによる福音書第10章27節

2. 総括

本年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に振り回された1年であったが、それにしても、デジタル対応の遅れや非常時に対応できない医療制度など新型コロナウイルスの感染拡大が浮き彫りにした日本が抱える様々な課題は我々の想像をはるかに超えるものであった。そして、当法人においても様々な課題が浮き彫りになった年でもあった。

このような状況の中で、4月1日からガリラヤ荘及びガリラヤ久米においては新たな部課長制を導入し、それぞれの役職の責任と役割を明確化し、業務の効率的な推進体制を整えるとともに、本部事務局については、人事労務関係業務に加えて懸案となっていた会計部門の集約化を図るなど、一応法人全体の骨組みは出来上がったと考えている。

ただ、先にも記したようにコロナに伴い、様々な課題が浮き彫りになったことはある面将来を見据えた方向性を考える契機になったことも事実である。

一つ目は、リスク管理の重要性である。今回の感染症では万が一の時の対応をあらかじめ想定しておくことの重要性を改めて痛感したところである。二つ目は、遅れを指摘されているデジタル対応である。本年度には、介護記録のペーパーレス化を中心に、見守りセンサーの導入などの検討を進める一方、未整備であったガリラヤ荘にWi-Fiを設置して情報環境の整備に努めたところである。三つ目は、コロナ下で在宅勤務といった新しい働き方や職務内容を明確にするジョブ型雇用などがクローズアップされており、このような動きなどを踏まえ、まずは職員個々の能力を高めるとともに労働生産性の向上を図るための人事評価制度や研修制度の構築に取り組んだところである。これらは次年度から実施することとしているが、さらに、ジョブ型雇用や正規と非正規の給与体系の見直しなどについても検討して行きたいと考えている。

また、一方、愛隣こども園、ガリラヤ荘、ガリラヤ久米の3事業所の状況については、本年度の決算状況を見ると、当期資金収支差額が愛隣こども園6,253千円、ガリラヤ荘45,274千円、ガリラヤ久米マイナス22,358千円、法人全体では20,874千円となっており、前年度63,034千円に対して42,160千円の大幅減となっている。これはガリラヤ久米建設時の借入金の元金償還が始まったことによるものであり、プラスにはなったものの厳しい状況にあることは間違いない。経営基盤のさらなる強化は必須の課題である。ただ、ガリラヤ荘及びガリラヤ久米の高齢者部門ではコロナの影響で在宅関係の収益が落ちた中でのプラスの決算ということはある面評価できるのではないかと考えている。

その他、愛隣こども園にあっては、今のところ経営的には安定しているものの、今後の児童数の減少を考えるとかなり厳しい状況にあるのではないかと危惧している。なお、本年度は、コロナ下ではあったが徹底した予防策を講じることで園を閉じるということもなく、大きな混乱も見られなかった。ただ、運動会、クリスマス会等各種行事の縮小、制限、短縮を余儀なくされたことは残念であった。また、地域子育て支援センターについては、4月中は市の要請で休止とし、5月13日より再開するも、利用は全て予約制としたところである。

ガリラヤ荘及びガリラヤ久米についても、新型コロナ対策として、各種イベントの中止、家族面会の制限、スタッフの行動自粛や出退勤時の検温等々の各種対策を講じるとともに、万が一感染症が発生した場合の業務継続のマニュアル作成やそれに基づく訓練なども実施し、予防対策に万全を期した結果、今のところ新型コロナの発生は何とか食い止められているところである。

このように本年度は何かを行って成果を上げたということではなく、コロナ下でただただ我慢の1年であったかと思うが、こういった中で、将来に向けたいくつもの課題が掘り起こされた1年であり、今後は、これらの課題や団塊の世代が全員75歳以上となる2020年、また、働き手が急減する2040年を見据えつつ、こうした大きな時代の流れを的確にとらえながら、一つ一つ着実に課題を解決し持続可能な法人経営につなげていきたいと考えている。

3. 事業の概要

【沿革】

- ・1930年（昭和5年） 松山市神田町に三津キリスト教会附属「愛隣保育園」開設
- ・1967年（昭和42年）8月 社会福祉法人「愛隣保育園」の法人認可
- ・1972年（昭和47年）11月 社会福祉法人「愛隣園」と名称変更
- ・1973年（昭和48年）4月 現東温市松瀬川に特別養護老人ホーム「ガリラヤ荘」（定員50名）開設
- ・1977年（昭和52年）4月 特別養護老人ホーム「ガリラヤ荘」増設（定員80名）
- ・2000年（平成12年）4月 「ガリラヤ荘」介護老人福祉施設の指定
- ・2008年（平成20年）11月 「ガリラヤ荘」東温市南方1766番地1へ新築移転
- ・2016年（平成28年）4月 「愛隣保育園」松山市三津三丁目6番30号へ新築移転
- ・2017年（平成29年）4月 「愛隣保育園」幼保連携型認定こども園移行により「愛隣こども園」に名称変更
- ・2017年（平成29年）4月 松山市久米窪田町667番地1に高齢者総合福祉施設「ガリラヤ久米」開設

【事業】

事業所名	施設長	所在地	定員等
愛隣こども園	羽藤美知子	松山市三津三丁目6番30号	66名
ガリラヤ荘	高橋 雅志	東温市南方1766-1	特養80名、ショートステイ20名 デイサービス35名、その他居宅介護 支援事業所、在宅介護支援センター、 訪問介護を運営
ガリラヤ久米	佐々木 忍	松山市久米窪田町667-1	特養29名、ショートステイ10名、 グループホーム18名、介護付有料35 名、デイサービス18名、その他居宅 介護支援事業所を運営

4. 理事会、評議員会の開催

(1) 役員・評議員

【役員：理事6名、監事2名】

理事長	佐々木信也	理事	高橋 雅志
理事	佐々木美穂	監事	和田 政也
理事	丹 紀代	監事	川中 国和
理事	長谷川 寿		
理事	羽藤美知子		

【評議員7名】

評議員	田坂 信一	評議員	乗松 健二
評議員	二宮 秀生	評議員	杉野 典子
評議員	野村 忠秀	評議員	西川 潤子
評議員	別府 頼房		

(2) 理事会

開催年月日	出席者数		議 案
	理 事	監 事	
令和2年度 第1回理事会 6月11日	6名	1名	<p>【決議事項】</p> <p>第1号議案 令和元年度事業報告の件 第2号議案 令和元年度計算書類（決算報告）の件 第3号議案 評議員選任に伴う候補者の推薦の件 第4号議案 職員紹介手当の件 第5号議案 定時評議員会の日程及び議案の件</p> <p>【報告事項】</p> <p>1. 令和元年度監事監査報告の件 2. 新型コロナウイルス対策の件 3. 源泉徴収に係る税務調査結果の件 4. 現況報告</p>
令和2年度 第2回理事会 書面決議 12月1日	全員同意	全員異議 なし	<p>【提案事項】</p> <p>第1号議案 令和2年度第1次補正予算の件 第2号議案 ホームヘルプサービスガリラヤ 訪問介護介護保険外サービス運営 規程制定の件 第3号議案 令和2年度第2回評議員会の日程及 び議案の件</p>
令和2年度 第3回理事会 3月16日	6名	2名	<p>【決議事項】</p> <p>第1号議案 令和2年度第2次補正予算の件 第2号議案 令和3年度理事長報酬の件 第3号議案 令和3年度事業計画の件 第4号議案 令和3年度当初予算の件 第5号議案 愛隣こども園短時間正職員就業規則</p>

			制定の件 第6号議案 職場におけるハラスメント防止に関する規程制定の件 第7号議案 運営規程の一部改正の件 第8号議案 第3回評議員会の日程及び議案の件 【報告事項】 1. 令和2年度行政指導監査の実施結果の件 2. 新型コロナウイルス対策の件 3. 理事長の職務執行状況及び現況報告
--	--	--	--

(3) 評議員会

開催年月日	出席者数		議案
	評議員	監事	
令和2年度 定時評議員会 6月25日	6名 (1名欠席)	2名	【報告事項】 1. 令和元年度事業報告の件 2. 令和元年度監事監査報告の件 【決議事項】 第1号議案 令和元年度計算書類等(決算報告)の承認の件 【その他報告事項】 1. 新型コロナウイルス対策の件 2. 源泉徴収に係る税務調査結果の件 3. 新評議員選任の件 4. 現況報告
令和2年度 第2回評議員会 書面決議 12月11日	全員同意	—	【決議事項】 1. 令和2年度第1次補正予算の件
令和2年度 第3回評議員会 書面決議 3月31日	全員同意	—	【決議事項】 1. 令和2年度第2次補予算の件 2. 令和3年度理事長報酬の件 3. 令和3年度事業計画の件 4. 令和3年度当初予算の件

5. 監事監査

令和2年6月3日に、和田政也及び川中国和の両監事により令和元年度事業報告及び当該年度に係る計算書類関係に基づき業務及び財務の状況について監査が実施された。

6. 評議員選任委員会の開催

杉山公評議員の死去に伴い、後任の評議員を選任するため6月17日に評議員選任委員会

言語聴覚士		1				1
事務職員	3					3
用務員等	7					7
合 計	11	77	16	10	4	118

【ガリラヤ久米】

職 種	管理部門	特養・SS	デイサービス	グループホーム	居 宅	有 料	合 計
施設長	1						1
生活相談員		2	2(兼務1)			2	6(兼務1)
介護職員		26	5(兼務1)	14		15	60(兼務1)
看護職員		4	2			2	8
主任介護支援専門員					1		1
介護支援専門員		1		2	1	1	5
管理栄養士		1					1
事務職員	2						2
用務員等	4					1	5
合 計	7	34	8	16	2	21	88

③離職率（1年間の退職者数を年度当初の在籍者数で割ったもの）

区 分	令和2年度当初	退職者	令和2年度離職率	令和元年度離職率
愛隣こども園	26	1	3.8	0
ガリラヤ荘	118	7	5.9	13.9
ガリラヤ久米	88	9	10.2	15.0
本 部	5	0	0	0
法人合計	237	17	7.2	14.1

※令和2年度の場合、法人全体では7.2であるが、これは、福祉医療機構の2019年度社会福祉法人の経営状況分析結果における全体の離職率14.5に比べるとかなり低い離職率となっている。ちなみに厚生労働省の調査結果によると全業種における2019年1年間の離職率が15.6、医療福祉業14.4となっている。

10. 実習生及び外国人受け入れ状況

①実習生の受け入れ

○愛隣こども園

・保育実習

聖カタリナ大学・短期大学部、松山東雲女子大学、今治明德短期大学、大阪芸術短期大学部から各1名ずつの計4名の実習生の受け入れを行った。

・小児看護学実習

人間環境大学から15名の実習生の受け入れを行った。

○ガリラヤ荘

・介護実習

河原医療福祉専門学校から9名、松山城南高等学校から6名の計15名の実習生の

受け入れを行った。

- ・看護実習

愛媛大学医学部看護学科から 15 名の実習生の受け入れを行った。

- ・その他、愛媛医療技術大学に講師として職員を派遣

②外国人の受け入れ

令和 2 年度の外国人の受け入れについては、ベトナム国籍の女性 1 名と中国籍の男性 1 名の計 2 名の留学生をアルバイトとして受け入れている。卒業後は、正規の介護職員として雇入れる予定。

当法人では、令和元年度に河原医療福祉専門学校と提携して、介護を学ぶ留学生を対象に生活費及び学費の援助を目的とした奨学金貸与制度を設けたところであり、卒業後は当法人の介護施設に勤務することとしている。

※奨学金貸与制度の内容

2 年間の在学中、毎月 37,500 円（2 年間で 900,000 円）を貸与、卒業後は、介護福祉士の資格を取得し当法人に 5 年間勤務した場合、返済は免除

11. 職員研修

各事業所では、職員の保育や介護技術のスキルアップを目指して外部研修に積極的に参加するほか内部で以下のような専門研修をきめ細かく実施しているが、福祉を取り巻く厳しい環境の変化に対応していくためには、これらの専門研修に加えて、組織運営のマネジメントスキル向上を目指した階層別研修などに取り組み、様々な課題に適切に対応できるより幅広い人材の育成が必要不可欠と考えている。

○ガリラヤ荘及びガリラヤ久米

- ・新人職員研修
- ・身体拘束虐待防止研修
- ・リスクマネジメント研修
- ・新型コロナウイルス感染症対策研修（防護着脱訓練、感染者発生想定訓練なども実施）
- ・看取り看護研修
- ・食中毒防止研修
- ・トータルケア勉強会

※なお、これらの研修は、コロナの関係で書面開催あるいは WEB での開催となった。

そのほか、高齢者ケア研究会オンラインセミナーにも都合 4 回参加。

12. コロナ対策

○「新型コロナウイルス緊急対策本部」の設置

令和 2 年 4 月 17 日付で当法人内に「新型コロナウイルス緊急対策本部」を設置し、感染状況に応じた対応方針をその都度協議しながら決定し、職員に周知徹底を図った。

① メンバー：理事長、本部事務局長、各施設長及び統括部長

② 役割：情報の収集及び共有

新型コロナウイルス対策に関する基本的対応方針の決定

万が一施設内で発生した場合の対応策の検討 など

③ 職員への周知

(委員総数 5 名：外部委員 2 名、監事 1 名、事務局職員 2 名) が開催され、新たに鈴鹿医療科学大学保健衛生学部医療福祉学科特任教授西川潤子氏を選任した。

7. 主な修繕及び備品等の購入状況

○主な修繕

区 分	内 容	金 額
愛隣こども園	・ 駐車場隣地ブロック修理他	474,666 円
ガリラヤ荘	・ 電気温水器修理 5 件 (473,990 円) ・ 電動ミキシングバルブ修理 2 件 (353,941 円) ・ 水栓交換等修理 6 件 (204,116 円) ・ 正面玄関自動開閉装置修理 (363,000 円) ・ 特殊浴槽備品修理 3 件 (1,230,510 円) ・ その他 (912,289 円)	3,537,846 円
ガリラヤ久米	・ トイレ備品修理等 5 件 (118,800 円) ・ 3 階間仕切り壁補強工事 (308,000 円) ・ 浄化槽調整ポンプ取替工事 (90,200 円) ・ その他 (182,127 円)	699,127 円
合 計		4,711,639 円

○備品等購入状況

区 分	内 容	金 額
愛隣こども園	・ 空気清浄機 5 台 (750,000 円) ・ オゾン発生器バクテリア 3 件 (528,000 円)	1,278,000 円
ガリラヤ荘	・ パソコン一式 2 セット (305,074 円) ・ 顔認証検温器 (253,000 円) ・ 軟水器設置工事 (1,518,000 円) ・ Wi-Fi 設置工事 (275,000 円) ・ とろみ自動調理サーバー (550,000 円) ・ 業務用オゾン除菌消臭器 4 台 (484,000 円)	3,385,074 円
ガリラヤ久米	・ パソコン一式 (154,308 円) ・ 顔認証検温器 (253,000 円) ・ 天井走行型リフト一式 (2,112,440 円) ・ オゾン発生装置設置工事 (1,709,400 円)	4,229,148 円
法人本部	・ パソコン一式 (128,480 円) ・ 耐火金庫 (144,100 円)	272,580 円
合 計		9,164,802 円

8. 利用者の状況

施 設・事業名	定 員	年間延べ利用者数	1 日平均利用者数
愛隣こども園	66	1,038	
ガリラヤ荘	80	28,014	76.7

	ショートステイ	20	5,415	14.8
	デイサービス	35	7,737	24.9
ガリラヤ久米	特養入所	29	10,115	27.7
	ショートステイ	10	2,948	8.0
	デイサービス	18	3,412	11.0
	グループホーム	18	6,313	17.2
	介護付有料	35	11,024	30.1

9. 職員の状況（令和3年3月31日現在）

①職員配置

区分	本部	愛隣こども園	ガリラヤ荘	ガリラヤ久米	合計
正規職員	3	17	65	60	145
準職員	2	0	52	25	79
臨時/パート	0	9	0	0	9
派遣			1	3	4
合計	5	26	118	88	237

②職員構成（職種、事業所別）

【本部事務局】

職種	局長	次長	事務員		合計
正職員			3		3
準職員	1	1			2
合計	1	1	3		5

【愛隣こども園】

職種	園長	保育教諭等	調理員	事務員	合計
正職員	1	14	2		17
準職員		7	1	1	9
合計	1	21	3	1	26

【ガリラヤ荘】

職種	管理部門	特養・SS	デイサービス	訪問介護	居宅・在宅	合計
施設長	1					1
生活相談員		2	2(兼務1)			4(兼務1)
介護職員		63	10(兼務1)	10		83(兼務1)
看護職員		9	5			14
主任介護支援専門員					1	1
介護支援専門員		1			3	4
管理栄養士		1				1

県外移動の制限や外出の自粛など対策本部で決定した取り組み事項については、逐一、職員に対してはお知らせという形で周知してきたところであり、お知らせは計16回にわたっている。

そのほか、ご家族の皆さんには、面会制限などについて協力を依頼した。

④ 新型コロナウイルス発生想定事前訓練の実施

- ・ 令和2年9月20日（日）10時～12時 ガリラヤ荘
- ・ 令和2年10月4日（日）9時30分～12時 ガリラヤ久米

○慰労金の支給

令和2年10月26日、高齢者部門の職員全員（223名）に一律5万円の慰労金を支給。

13. 経営会議等の開催

(1) 経営会議（理事長、本部事務局長、各施設長及び各部長）

開催日	議 事 内 容
第1回 4月22日	1. 新型コロナウイルス対策について 2. 会計処理について 3. 今後の事務処理について 4. 令和元年度決算処理について
第2回 5月28日	1. 令和元年度決算について 2. 職員紹介制度について 3. 令和2年度事務処理体制について 4. コロナ後を見据えた具体的取組方針について
第3回 9月23日	1. 上半期収支状況について 2. 遇改善手当について 3. キャリアパス制度及び人事評価制度について 4. 電力料金について 5. 支援金の申請について 7. 公益的取り組みの推進（自費サービス）について 等
第4回 11月20日	1. 上半期収支状況について 2. 令和2年度第1次補正予算（案）について 3. 今後の組織体制強化に向けた取組方針について 4. パワハラ防止法施行に伴う就業規則の一部改正等について 5. 介護保険外サービス運営規程の制定について 7. 令和2年度新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金 等
第5回 3月3日	1. 令和2年度第2次補正予算（案）について 2. 令和3年度事業計画（案）及び当初予算（案）について 3. 諸規程の改正等について 4. 火災保険について

(2) 経営戦略委員会（本部事務局長、各施設長、事務局次長、各部長）

開催日	議 事 内 容
第1回 7月17日	1. キャリアパス制度及び人事評価制度について 2. 事業継続計画（BCP）について 3. 電気料金の見直しについて 4. ICT機器の導入について（介護労働安定センター参加）

	5. コロナウイルス対策について 等
第2回 8月7日	1. コロナウイルス対策について 2. IGT 機器導入等コロナ関連の補助申請について 3. BCP の策定について 等
第3回 9月18日	1. 上半期の収支状況について 2. キャリアパス制度及び人事評価制度について 3. 処遇改善手当について 4. ホームヘルプサービスにおける自費サービスの創設 5. 新型コロナ対策について 等
第4回 10月21日	1. 上半期決算見込みについて（コロナ支援金含む）について 2. コロナウイルス感染症対策について 3. 訪問介護自費サービスについて 4. 人事評価制度について 等
第5回 12月25日	1. BCP の策定について 2. 中期経営計画の策定について 3. 令和3年度重点取組事項について 4. 研修制度について 等
第6回 1月27日	1. BCP の策定について 2. キャリアパスと人材育成 3. 今後の財務計画について 4. 令和3年度に向けての取組方針 ① 人事異動の基本方針 ② デジタル化の推進・介護ロボット等の導入 ③ 法人研修制度について ④ 公益的取組 等
第7回 2月24日	1. デジタル化の推進について 2. 公益的取組みについて 3. 令和3年度本部事務局事業計画について 4. コロナへの対応について 5. ハラスメント防止規程について 等

2020年度(令和2年度)事業報告

愛隣こども園

1. 保育・教育の目的

キリスト教主義の保育・教育理念、方針、目標に基づき、松山市より委託された乳幼児を下記の法において保育・教育をおこなった。

記:児童福祉法第39条を目的とし、児童福祉施設最低基準
第5章第32条より第36条を遵守した。

理念 多くの賜物を与えられて誕生した子どもたちを、ひとりひとり大切にみつめつつ保育及び教育
することで他者と共に生きることのできる子どもに育てる。

「自分を愛するように あなたの隣人を愛しなさい」(聖書のことばから)

方針 1「地域の人々と共に」 過疎化が進み高齢者が多くなりました。地域の人々と共に交流し、
保護者の家庭を含めて共生する使命があります。

2「基本的習慣を身につけ養う」 他者と心をつなぐ道です。それは他者の人格を尊び、
人権を大切にすることを育てる心でもあります。

目標 1. 基本的生活習慣を身につけよう。
2. 他の子どもとともに生きる子どもになろう。
3. 自分を豊かに表現できる子どもになろう。
4. 主体的に活動できる子どもになろう。

2. 振り返り

(1) 2020年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を徹底しながら何をすることもその都度検討し、園の運営をおこなった。4月16日に緊急事態宣言が全国に出されたことを受けて、保護者に登園自粛をお願いし在宅勤務をされている方、休みの場合は家庭保育をお願いした。緊急事態宣言が出された頃は、家庭保育に協力して下さっていたが、後半は、在宅勤務しながら家庭保育は難しい、ストレスがたまるという方もおり、家庭保育が可能な方の利用もみられた。

今までも感染症対策に取り組んできていたこともあり、体調管理や消毒等はスムーズに行えた。1番変化したのは、給食の提供の仕方、ランチルームで異年齢が交流しながら食べたり、バイキング形式で自分で加減しながらよそったり、職員と一緒に食べたり、友だちと楽しく会話しながら給食を味わうということができなくなり、食事風景は大きく変わった。その中でも給食室と連携を取り、献立や盛り付けを工夫したり、誕生日会やクリスマスなどそれぞれのクラスで雰囲気を楽しんだりできるようにした。行事等も別記(3)のように中止・延期・時間短縮・人数制限等行いながら、保護者に協力してもらい行うことができた。行事を行うことで、園での友だちや職員との関わりがわかったり、我が子だけでなく子どもたちの成長を感じることができ良かったという感想をたくさんいただいた。第2波・第3波の流行の時は、悩みながらの決断だったが、自治体の動向を見つつ、また保護者の意識を高めながらできたことは良かった。

(2) 2020年度も定員66名に対して最終89名で終える。利用定員を超えて子どもを受け入れた。職員や環境等最低基準を十分に満たしていることもあり、積極的に受け入れたので経営も順調であった。しかし、一定の条件の下、給付費の減算措置が適用される。定員特例の期間があり、2022年度の2号・3号の定員が120%超過すると減算対象になるのでその点、抑えていきたい。

(3) 2020年度の職員の状況は年度中は変動がなく安定していた。年度末に1名退職したが、育休の職員と入れ替わりとなる。コロナの影響もあり、4月、5月は小・中学校が休業で職員の休み希望が

あったが職員が充足していたこともあり、他の職員もバランス良く休みが取れた。園外の研修には殆ど参加できなかったが、キャリアアップ研修を中心にオンライン研修で学びの時間が確保でき、また業務内で行うことができた。働き方改革として、残業を減らすこと、有給休暇の取得等職員に働きかけ、成果が見られた。

- (4) 保育・教育内容は日々の積み重ねを丁寧に行うこと、職員同士の連携を大切にすることを心がけるようにしたが、苦情のところの記載にもあるように、年度当初、基本的なところを保護者に指摘され、考えさせられた。調乳ひとつにしても作り方が変わってきており、学び続けることの必要性を感じた。ベテランの職員は今までがこうだったからというところで判断したり、経験の浅い職員は指示まちで、自分で考えたり調べたりして取り組むというところがまだ未熟であり、課題である。
- (5) 2020年度から体操教室を取り入れた。年40回で、2歳児～5歳児を対象としている。子どもたちは心まちにしており意欲的に取り組む。運動会でも披露し保護者にも好評であった。また、その後5家庭が通うようになった。別記5の②のケガの報告書では数字は増えているが、大きなケガ等はなく病院受診もケガでの受診は、1件だった。子どもたちの様子を見ていても転ぶときに手をついたり、体の使い方がしなやかになってきているように感じる。職員だけの指導では身に付かなかったことができるようになったことを実感する。(逆上がり・ブリッジ・跳び箱等)
- (6) 地域子育て支援拠点事業は休止することもあったが、制限を設ける中、行うことができた。予約制ということで、予約が希望通りとれなかったり、グループが偏るということがみられた。活動は縮小されたが、補助金が例年同様にいただけたことは園としては良かった。反して延長保育事業は利用人数が少なかったことで、補助金が減る。実情は、利用人数に関係なく担当の職員2名は配置し、費用等も同じようにかかるので、時間差出勤等を活用したが、補助金内で行うことができなかった。一時預かり事業は、コロナの影響で前半の利用者が少なかったが、後半増えてきて、前年度と同額補助金が確保できた。

3. 児童数 (別記1)

定員 66名 (内1号認定 6名) 現数 89名
(0歳児 9名、1～2歳児 27名、3歳児 19名、4歳以上児 34名)

4. 職員数 (別記2)

園長 1名、保育教諭等 21名(内1名事務兼務)、調理員 3名、事務 1名

5. 保育・教育活動 (別記3)

6. 特別事業の実施状況 (別記4)

- ① 一時預かり事業
- ② 延長保育事業
- ③ 地域子育て支援拠点事業
- ④ 障害児保育事業

7. その他 (別記5)

- ① 食育・アレルギー食について
- ② 感染症・ケガ等について
- ③ 苦情及び苦情解決について
- ④ 研修参加状況について

(別記1) 児童数

2021年3月31日現在

月	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児		4歳児		5歳児		合計		総合計	備 考
	3号	3号	3・2号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	3・2号	1号		
4月	4	12	15	16	3	16	2	14	3	77	8	85	
5月	5	12	16	17	2	15	2	14	3	79	7	86	0歳児1名 2歳児1名 入園 4歳児1名 退園
6月	5	12	16	17	2	15	2	14	3	79	7	86	
7月	5	12	16	17	2	14	2	14	3	78	7	85	2歳児1名 入園 2歳児1名 4歳児1名退園
8月	5	12	16	17	2	14	2	14	3	78	7	85	2歳児1名 入園 2歳児1名 退園
9月	5	12	16	17	2	15	2	14	3	79	7	86	4歳児1名 入園
10月	6	12	16	17	2	15	2	14	3	80	7	87	0歳児1名 入園
11月	6	12	15	17	2	15	2	15	2	80	6	86	2歳児1名 退園
12月	7	12	15	17	2	15	2	15	2	81	6	87	0歳児1名 入園
1月	8	12	15	17	2	15	2	15	2	82	6	88	0歳児1名 入園
2月	8	12	15	18	1	15	2	15	2	83	5	88	
3月	9	12	15	18	1	15	2	15	2	84	5	89	0歳児1名 入園
計	73	144	186	205	23	179	24	173	31	960	78	1038	

(別記2) 職員数

2021年3月31日現在

4 月 ～ 3 月	園長	保育教諭等			調理員		事務員他	合計		
	正規	正規	臨時	パート	正規	臨時	臨時	正規	臨時	パート
	1		21			3		1	26	
		14	5	2	2	1		17	7	2

※正規保育教諭 1名 育休(2020年7月～2021年3月31日まで)

(別記3) 行事的保育・教育活動

月 日	曜日	行 事 的 保 育 ・ 教 育 活 動 他
4月4日	土	<p>入園式 新型コロナ感染拡大防止のため人数制限、時間短縮、検温・消毒・換気等を徹底して行う。式は三津教会 森分望 牧師の祈りにより始める。園長挨拶、各組担任による園児の紹介、子どもたちの歌、職員のエプロンシアターで終える。各クラスの集まりは中止する。保護者会の役員選出は年長児のクラスで行い、保護者会役員会は別日に行う。</p> <p>歓迎遠足 中止</p> <p>歯科検診 } 検診は、年2回義務付けられているが、今年度は新型コロナ感染症の 内科検診 } こともあり、年1回でも良いとのことで囑託医と相談し感染症が落ち着いたら行うこととした。</p> <p>保育参観日 中止</p>
5月13日	水	芋の苗付け 園長、3名の職員で苗付けを行う。(桑原の畑)
6月初旬		花の日 例年のような子どもたちの6月訪問は中止。三津教会に花の苗植えを職員有志で行う。
7月20日	月	松山市指導監査
8月1日	土	年長児鹿島海水浴 (くま組17名 引率者:職員…8名 保護会役員…3名)
8月5日	水	交通安全教室 10:00～11:00
8月27日)	木	} 高浜中学校2年生2名 職場体験
8月28日	金	
9月10日	木	内科検診 医師 井上 哲志氏 15:00～16:30
9月12日		敬老参観日 中止 両家の祖父母にプレゼントを郵送する。
9月16日	水	歯科検診 医師 道田 里美氏 10:00～12:00
10月1日	木	芋ほり 他園と一緒に桑原にある芋畑で芋ほりを体験する。(3歳以上児クラス) 未満児は後日、園の裏の畑の芋ほりを体験する。
10月24日	土	運 動 会 大可賀公園で時間短縮・検温・消毒・座席指定等 新型コロナ感染症拡大防止の中行う。 9:00～11:00
10月28日	水	アンパンマントロッコ列車遠足 くま組(5歳児)参加…他園と一緒に波方公園へ 他のクラスは中須賀公園へ
11月2日)	月	} 聖カタリナ大学短期大学部 保育所実習 1年生 1名来園
11月13日	金	
11月11日	水	感 謝 祭 三津教会で森分牧師、教会員の方々と一緒に礼拝を守る。 家から持ち寄った果物・野菜をクラスに分かれてご近所や、公共施設に届ける。

月日	曜日	行事的保育・教育活動 他
11月14日	土	親子遠足 藤山健康文化公園(大西町) 4月にできなかった歓迎遠足、また例年2月末に予定するお別れ遠足の代わりに企画した。友だちや保育者との関わる様子が分かったと好評であった。
11月17日 ↓	火	}
11月18日	水	
11月20日	土	こども園ミニバザー お迎え時保護者と子どもで買い物ごっこを行う。滞在時間15分以内でコロナで制限される中、とても楽しい企画だったと感想をいただく。
11月24日 ↓	火	}
12月5日	土	
12月19日	土	クリスマス祝会 降誕劇とクリスマス礼拝をコロナ感染拡大防止のため 人数制限、時間短縮、検温・消毒・換気を徹底して行う。 10:00~11:15 家族参加者:96名
12月24日 ↓	木	}
12月25日	金	
1月21日 ↓	木	}
1月22日	金	
1月27日	水	もちつき 子どもと職員のみでおやつの時間帯に合わせて行う。
2月5日	金	起震車体験 くま組(5歳児) きりん組(4歳児) うさぎ組(3歳児) 於:西消防署
2月8日 ↓	月	}
2月9日	火	
2月10日 ↓	水	}
2月22日	月	
2月24日 ↓	水	}
3月6日	土	
3月27日	土	遊戯会、卒園式 9:15~12:45 家族参加者:103名 新型コロナウイルス感染拡大予防のため人数制限、消毒、換気を徹底して行う。遊戯会後在園児は保護者と降園する。卒園式は、卒園児、その保護者、職員で行う。

※ 誕生会 … 毎月1回 避難訓練 … 毎月1回(総合訓練年2回) 給食弁当… 毎月1回 身体測定… 毎月1回

(別記4) 特別事業の実施状況

- ① 一時預かり事業 … 一時的に家庭での保育が困難となった場合や、育児疲れの負担を軽減するため一時的に預かることで、安心して子育てができる環境を整備し、児童福祉の向上を図ることを目的として行う。

一時預かり保育事業延人数 (月～金曜日 8:30～17:00)

月	実人数	延人数
4	20	120
5	13	88
6	18	156
7	19	161
8	22	157
9	29	206
10	26	209
11	30	216
12	34	199
1	37	200
2	36	204
3	39	228
2020年度合計	323	2,144
参考2019年度合計	419	2,233

- ② 延長保育事業 … 就労形態の多様化に伴う延長保育の需要に対応するため行う。

延長保育事業延人数 (月～金曜日 18:00～19:00 の利用者)

月	未満児	3歳児	4歳以上児	合計
4	23	28	24	75
5	21	24	21	66
6	26	24	42	92
7	23	23	35	81
8	19	21	27	67
9	10	24	32	66
10	27	25	40	92
11	17	23	36	76
12	25	24	39	88
1	23	19	37	79
2	26	34	42	102
3	41	35	39	115
計	281	304	414	999
参考 2019年度計	333	290	827	1,450

③地域子育て支援拠点事業 …… 主に0歳児から3歳児の未就園児とその保護者また、妊娠中の母親に対して、子育て親子の交流等の提供と促進、子育てに関する相談援助等を基本として活動を行う。

1 活動日時 月曜日～金曜日 10:00～15:00

2 活動内容

2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応を松山市からの要請に応じて中止していたが、活動を徐々に再開する。

- ・地域交流室(センタールーム)開放:地域交流室に様々な玩具や、絵本をそろえ自由に遊べるよう開放している。
 ※利用時間(1組あたり1時間30分)・利用組数(室内に3組まで)の予約制を取り入れ、5月13日(水)より再開する。
- ・あかちゃん 広 場:三津浜公民館・高浜公民館にて、月に1回、0歳児を対象に活動の場を提供する。
- ・親子ふれあい広場:三津浜公民館・高浜公民館にて、月に1回、1～3歳児を対象に活動の場を提供する。
 ※公民館の広さに応じて5組～10組の人数制限を行い、全て予約制で6月19日(金)から活動を再開する。
- ・園庭開放:天気の良い日に、園の広場や屋上を開放している。
 ※在園児との交流に注意し、5月13日(水)より活動を再開する。
- ・育児講座:月に1回程度、製作等を中心に育児や生活が楽しくなるような内容や保護者の関心のあることを取り入れる。
 ※参加組数を減らし、午前(3組)・午後(3組)と分け、予約制で活動を行う。
 (戸外の場合は10組)
 ※外部講師に依頼する活動(読み聞かせ会や、歯磨き講習等)は控える。
- ・給食試食会:園の給食を親子で一緒に試食してもらう。
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施していない。
- ・育児相談:電話、来園等で育児の悩みや不安、困っている事などの相談を受けている。
- ・絵本の貸出:地域交流室に置いている、絵本や育児・離乳食等の本の貸出を行う。

3 支援センターの利用者人数(2020年度)

〈 育児講座 〉

月日	活動内容	参加者		
		参加組	子ども	保護者
9月17日(木)	型はめおもちゃ製作	2	2	2
9月24日(木)	型はめおもちゃ製作	3	3	3
10月27日(火)	運動会ごっこ	9	11	9
11月12日(木)	公園遊び(祓川公園)	5	6	5
12月22日(火)	クリスマス製作	5	6	5
1月14日(木)	カレンダー製作	5	6	5
2月10日(水)	ひなまつり製作	4	5	4
3月10日(水)	公園遊び(三津公園)	6	8	6
	計	40	47	40

〈 センタールーム・園庭開放・絵本貸出 〉

月	利用者			絵本貸出
	参加組	子ども	保護者	
4	0	0	0	0冊
5	11	11	11	2冊
6	30	34	31	8冊
7	32	45	36	6冊
8	19	23	19	0冊
9	26	26	26	0冊
10	30	32	30	3冊
11	28	38	28	0冊
12	30	37	30	3冊
1	39	51	39	1冊
2	39	48	40	0冊
3	40	46	42	0冊
計	324	391	332	23冊

〈 園行事 〉

月日	行事	活動内容
10月24日(土)	音の広場(運動会)	新型コロナウイルス感染症予防のため、例年のように声かけを行っていない
11月20日(金)	親子バザー	新型コロナウイルス感染症予防のため、在園児のみで行う

4 相談件数

月	相談件数				相談内容
	発達・発育	育児不安	情報提供	その他	
4	0	0	2	0	・当園の見学希望(2件)
5	0	0	1	0	・当園の見学希望
6	0	0	4	0	・一時預かりについて ・当園の見学希望(2件) ・支援センターについて(1件)
7	0	0	5	0	・一時預かりについて(2件) ・あかちゃん広場について ・入園について・当園の見学について
8	0	0	4	0	・一時預かりについて(2件) ・当園の見学希望(2件)
9	0	0	1	1	・一時預かりについて ・姉弟の入園について
10	0	0	4	0	・一時預かりについて(2件) ・当園の見学希望 (2件)
11	0	0	2	0	・一時預かりについて ・当園の見学希望
12	0	1	0	0	・子どもの様子について
1	0	0	2	0	・当園の見学について ・広場について
2	0	0	1	0	・あかちゃん広場について
3	0	0	2	0	・センタールーム利用について(2件)
合計	0	1	28	1	計30件

※ 2020年3月30日より新型コロナウイルス感染症防止対策として松山市からの要請を受け、子育て支援拠点事業の活動を休止した。5月13日からセンタールーム・園庭開放、6月19日から各公民館での広場を再開した。新型コロナウイルス感染症対策として、どの活動も予約制を取り入れた。前年度に比べて、それぞれの活動が少人数でゆとりのある中で行われ、子どもたちものびのびと活動し、保護者同士の交流が深められたように感じる。事業開始より好評であった給食試食会やプール開放ができなくなったことは残念であった。また、本当に支援が必要な家庭に事業の情報が行き届いていないのも現状である。

④ 障害児保育事業 … 障害児の保育を推進し、障害児に対する適切な処遇の確保を図る。

対象児：5歳児 3名、4歳児 2名、3歳児 1名、計6名

(松山市障害児等療育支援事業利用について)

1 実施した支援等の内容

施設支援一般指導事業

- ・成長や発達ที่緩やかな子、配慮が必要な子、病気や障がいがある子への関わり方や療育等の相談
- ・配慮が必要な子に対して、また、クラス全体に対して、クラス運営の仕方についての相談
- ・保護者への伝え方や支援について相談。

2 利用施設

- ・社会福祉法人 福角会 くるみ園
- ・子ども発達支援サポート にこら
- ・児童発達支援・放課後デイサービス ちゅーりっぷ
- ・おおぞら病院 言語療法外来(ことばの教室)
- ・愛媛県立子ども療育センター
- ・八坂小学校内 たんぽぽ教室

3 施設支援実施内容

回	月日	実施内容	利用施設
1	7月3日	園長、担任の気になる子どもを伝え、それを踏まえて各クラスや園全体をみていただく。また、見てもらい感じたことを伝えていただく。	くるみ園
2	8月21日	4、5歳児クラス、1歳児クラスの気になる園児の活動をみていただく。個別、全体での支援の方法のアドバイスをいただく。	くるみ園
3	10月20日	一緒に公園へ行き、運動会のリハーサルの取り組みをみていただく。	くるみ園
4	1月19日	対象児の園での様子を見に来られる。現状を伝えたり、施設での様子、見解を聞く。	にこら

※ 2020年度はコロナウイルスの影響で回数が減ってしまう。また1月には福角会を利用される方の安全を考え、施設支援が終了となる。まだまだ深く知りたいこともたくさんあったので、とても残念であった。児童発達支援事業を利用し始める子どもも増えているので、より良い保育や働き掛けをする為にも、時間をとってもらい、話し合う機会が充実できれば良かった。また、外部研修では発達支援の研修に参加し、気になる子どもへの支援の仕方、関わり方等学び、理解することができた。

5歳児相談の活用…保護者から相談を受け、その後、子ども発達支援サポートにこらを利用する。

教育相談(松山市教育委員会)について

- ・ 2020年度は、コロナウイルスの影響で例年とは少し違った方法であった。
- 3人程、教育相談を予定していたが、支援を受けている園児のみで、利用していない園児は、就学面談シートの活用で直接学校で面談という形であった。
- ▶第1・2回松山市教育相談会の申請について 1名申請 → 望ましい教育の場として、通級による指導の結果となる。
- ▶就学面談シートの活用 3名を予定していたが、最終1名

小学校との連携

- ・ 保護者の意向を聞きつつも園生活の様子を伝え、子どもたちにとってより良い小学校生活を送れるように小学校と連携をとる。
- ・ 入学を希望する小学校の学年主任、予定される担当職員と引き継ぎを丁寧に行う。(こども園にて)

(別記5) その他

① 食育活動・アレルギー食について

※食育の取り組み

- ・年齢別に年間食育計画を立て、園児の健やかな食習慣を培うようにした。
- ・コロナの影響で密を避けるため、例年に比べると活動が十分に出来なかったが、そのなかでも、工夫して取り組むことが出来た。

月	活 動 内 容
4・5月	いちご収穫
	レタスの植え替え・収穫
	そら豆の皮むき
	5/22・・・野菜の苗を購入、苗植え
	5/13・・・芋の苗を購入・苗植え (5/13 桑原の畑、 5/25 園庭)
6月	とうもろこしの皮むき
7・8月	かき氷、すいか割り、海水浴、野菜の収穫
10月	たこ焼き、ポップコーン、お弁当給食再開
	10/1・・・芋掘り遠足(収穫が少なかった為、5日のみそ汁に追加)
	10/5・・・クッキーの型抜き(くま・きりん組)
	10/13・・・ 園庭の芋ほり 10/16焼きいも大会(園庭でドラム缶を使用し炭で焼く)
11月	ミニミニバザー テイクアウト (たこ焼き・ポップコーン・クッキー)
12月	各部屋でのクリスマスパーティー (トナカイライス・ローストチキン・リースサラダ・フルーツ・ツリー)
	おでん
1月	もちつき大会(おやつ)
2月	誕生日会・・・節分メニュー (デコ飯、金棒ハンバーグ、大豆サラダ、いちご)
3月	3月は卒園児のリクエストメニュー
	3/16・・・園庭の大根収穫 3/17・・・厚揚げの煮物に追加 3/18・・・フライド大根に変更
	誕生日会・・・マックススタイル (ハンバーグ・フライドポテト・マカロニサラダ・オレンジジュース・いちご)

※令和2年度 アレルギー児への対応

	年齢・性別	アレルギー	除去の状況	解除
1	0歳 女児	トマト	完全除去	
2	1歳 男児	卵	卵・マヨネーズ・アイスクリーム除去 つなぎはOK	R2・7/14 解除
3	1歳 男児	卵	完全除去 R2・4/8 つなぎ・焼き菓子OK	R2・11/21 解除
4	1歳 男児	卵・乳	完全除去 ・調理器具、食器等別(1月解除)	
		卵	R2・7/3 卵・つなぎOK	
		乳	R2・7/2 食パンOK 10/5 ヤクルト・バターロール1個・チーズ1個OK	
5	2歳 女児	卵	完全除去 R2・7/29 つなぎOK(練り製品・焼き菓子等) プリン(卵不使用)OK	
		乳	完全除去 R2・7/29 乳加工品OK(チーズ・ヤクルト・焼き菓子)	
7	2歳 女児	乳	牛乳・生クリーム・アイス・ホワイトソース・ヨーグルト・プリン除去	R3・3/1 解除
8	2歳 女児	卵	半熟卵・カスタード除去	
9	3歳 男児	卵	完全除去 調理器具、食器等別	
		魚	完全除去 R2・4/7 魚だし、缶詰、焼き魚、甲殻類OK	
10	3歳 男児		魚卵、貝類、甲殻類(えび)、柿、山芋、キウイ、ナッツ類除去	
11	4歳 女児	卵	卵・マヨネーズ・アイス除去 つなぎOK(練り製品、焼き菓子等)	
		乳	牛乳・乳製品除去 つなぎOK(バター、マーガリン、焼き菓子等)	

②感染症・ケガ等について

感染症	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	参考 2019年度
インフルエンザA型											1		1	34
感染性胃腸炎									1	6			7	2
流行性耳下腺炎			1										1	2
クルーズ症候群		1								1			2	1
溶連菌感染症				1									1	14
手足口病														45
RSウイルス														4
アデノウイルス							1						1	3
ヒトメタニューモウイルス	1												1	
突発性発疹	1				1								2	
帯状疱疹														1
マイコプラズマ肺炎														1
水ぼうそう							2						2	
合計	2	1	1	1	1		3		1	7	1		18	107

※参考2019年度と比較してもらったらわかるように、2020年度は感染症が殆どといっていいほど流行しなかった。1月の感染性胃腸炎は未満児を中心に広がったが、軽症であった。感染症が流行しなかったのは他園でも同じ傾向が見られ、新型コロナウイルス感染症拡大防止を徹底したことによると思われる。

こども園で手当てをし、保護者に報告したもの(ヒヤリハット報告書)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	参考2019年度
唇のケガ	2 1歳児1名 3歳児1名	4 1歳児1名 2歳児1名 3歳児1名 4歳児1名						2 0歳児1名 1歳児1名	3 0歳児1名 2歳児2名			1 3歳児1名	12	4
打ち身等	6 2歳児5名 5歳児1名	2 1歳児1名 2歳児1名	21 1歳児2名 2歳児8名 3歳児6名 5歳児5名	6 1歳児1名 2歳児2名 3歳児3名	11 0歳児3名 2歳児5名 3歳児1名 5歳児2名	7 0歳児1名 1歳児2名 3歳児1名 4歳児1名 5歳児2名	9 1歳児1名 2歳児4名 3歳児1名 5歳児3名	9 2歳児5名 3歳児4名	1 2歳児1名	8 1歳児2名 2歳児5名 5歳児1名	6 0歳児2名 1歳児1名 2歳児2名 3歳児1名	1 0歳児1名	87	54
ひっかき	2 0歳児1名 1歳児1名	2 1歳児1名 2歳児1名	5 0歳児1名 1歳児1名 2歳児3名	3 3歳児2名 5歳児1名	1 3歳児1名		1 4歳児1名	2 2歳児1名 4歳児1名	5 2歳児5名	3 1歳児1名 2歳児2名		2 2歳児1名 3歳児1名	26	13
かみつき		2 2歳児2名	5 1歳児1名 2歳児4名	1 2歳児1名	3 2歳児2名 4歳児1名	4 1歳児3名 2歳児1名	3 1歳児1名 2歳児1名 3歳児1名		1 1歳児1名			1 2歳児1名	20	14
すり傷等	2 3歳児1名 5歳児1名	5 2歳児2名 3歳児2名 4歳児1名	8 2歳児1名 3歳児7名		1 4歳児1名	1 3歳児1名	15 2歳児5名 3歳児3名 4歳児4名 5歳児3名	4 1歳児1名 2歳児1名 4歳児2名	3 3歳児1名 5歳児2名	1 1歳児1名	1 1歳児1名	2 2歳児2名	43	12
つねる	1 2歳児1名		1 0歳児1名	3 2歳児1名 5歳児2名									5	1
指をつめる			1 2歳児1名		1 2歳児1名		1 2歳児1名		1 2歳児1名	1 3歳児1名			5	3
誤食													0	2
爪のケガ				1 5歳児1名									1	0
誤薬												1 3歳児1名	1	0
切り傷	1 5歳児1名		1 2歳児1名	1 5歳児1名									3	1
脱臼					1 2歳児1名	1 2歳児1名	1 2歳児1名						3	0
目の傷												1 0歳児1名	1	0
その他													0	3
合計	14	15	42	15	18	13	30	17	14	13	7	9	207	107

内病院を受診したものの5件(参考2019年度6件)

病院受診のケガ

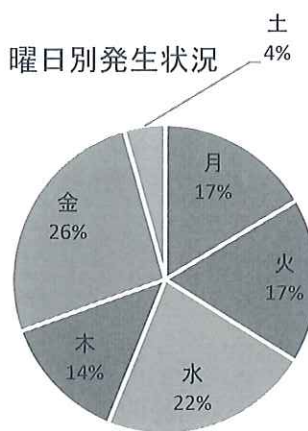
同じ園児

- ①左腕の肘…2歳児 午睡時に布団に入り、寝返りを打った後泣き出し、「抜けた」と本児が話す。
接骨院が昼休みだったため、左腕の下にタオルケットを敷き、仮眠をとった後に接骨院を受診して肘を入れてもらう。
- ②左腕の肘…2歳児 保育者と手を繋いで歩いているときに、急に体を反らしてその拍子に左肘が抜ける。
接骨院を受診して、肘を入れてもらう。
- ③左腕の肘…2歳児 体操教室中に右腕で保育者の手を持ち本児が立った後、「左腕が痛い」と言うので、接骨院を受診する。立つときに左肘を付いたか、座っている時からなのかは分からないが、治してもらう。
- ④目と目の間…4歳児 大可賀公園でリレーをしている時に、友だちの持っていたバトンが当たり、すり傷になる。
よく洗い、ワセリンを塗って傷当てパッドを付けて、午睡明けに病院を受診する。消毒シテープを貼ってもらう。
3日後再受診し、治りも順調で、受診の必要はないとのこと。
- ⑤右目の中…0歳児 前日の夕方、居残りの時間に右目の白目のところが赤くなっていた。なぜ赤くなったのか原因はわからなかった。その日は病院も閉まっている時間帯だったため翌日の午前中に病院を受診する。
小さい子にはよくなることもある、物理的な刺激により毛細血管がきれたと診断され、自然治癒で良いとのこと。
赤みは、1週間足らずで見られなくなった。

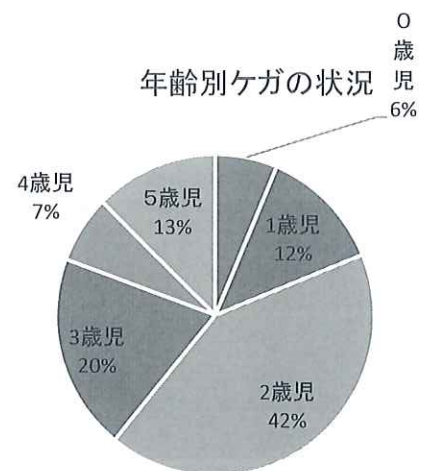
曜日別のケガの件数

	月	火	水	木	金	土	合計
午前	23	25	28	17	33	6	132
午後	11	11	18	11	21	3	75
合計	34	36	46	28	54	9	207
曜日別 病院を受診したもの							
午前	0	1	0	0	2	0	3
午後	1	0	1	0	0	0	2
合計	1	1	1	0	2	0	5

曜日別発生状況



年齢別ケガの状況



昨年度に比べ件数だけでいうと怪我は多いが、これはヒヤリハットの報告書も兼ねているので、小さいこともあがっているためといえる。病院受診も肘が抜けた3件は、家庭でも抜けるお子さんで癖になっているところもある。あとの2件も念のため受診した形であり、例年に比べると通院を必要とする怪我がなかったことは、良かった。

③苦情及び苦情解決の状況について

2020年度の件数 … 1件

▷申請日: 2020年5月20日

内容 … ※哺乳瓶のフードの取り扱いについて

※乳児保育の基本的なことについて職員間での徹底

要望 … 衛生面に配慮して調乳してほしい。また、調乳の仕方やおムツ替えについて職員間で共有してほしい。

経過・結果 … 保護者と話し合いを重ね、こちらの不備をお断りする。また、今回の件でマニュアルを見直し当園に合ったものに作成し直す。経験の浅い職員の教育を行うこと、中堅職員も再度様々なことを見直し、若い職員の教育にあたるように努める。保護者もこちらの意向を汲んでくださる。今回は謝罪のタイミングや姿勢が充分でなかったことも反省点である。

☆苦情としてあげるまでにはいたらなかったが、保護者から保育者の子どもへの対応や何気ない言葉についての相談が園長にある。それぞれ話を伺い、保育者の配慮が欠けていた点を謝罪し、職員にも伝え意識するよう働きかける。どちらも経験年数の長い保育者だけに慣れがあり、改めて指導が難しいところも感じている。

④ 研修参加状況について
2020年度 施設外研修

No.	実施月	研修会名	参加職種	研修内容	場所
1 中止	2020.4.17	日本キリスト教保育所同盟 2020年度 四国地区理事長・園長会	園長	・総会 ・おひさま保育園施設見学	松山市
2 中止	2020.4.11	令和2年度 松山市保育会総会			松山市
3	2020.9.9) 2020.12.4	令和2年度 発達支援実践研修	保育教諭	第2回「気になる子の世界を知ること支援の方法を見つけよう」 第4回「保育の中で運動機能を促すための基本的な体の使い方」	松山市
4	2020.7.15	令和2年度 第1回 松山市地域子育て 支援拠点事業研修会	指導保育 教諭	講演「援助的なコミュニケーション」 グループ討議・情報交換	松山市
5	2020.8.1) 2021.2.13	令和2年度 新任保育士研修会	保育教諭	第1回 ①保育士等としての心構え ②不安や悩みの解消方法 第2回 ①保育所保育指針について ②不安や悩みの解消方法 第3回 ①保育所保育指針について ②不安や悩みの解消方法	松山市
6	2020.9.7	保育士・保育教諭実技研修会	保育教諭	講義「乳幼児の感染症の予防と対策(実技及び実例質疑)」	松山市
7	2020.9.8	令和2年度 第2回 松山市地域子育て 支援拠点事業研修会	保育教諭	講演「アンガーマネジメントを通じた子育て支援」 グループ討議・情報交換	松山市
8	2020.9.26) 2021.1.23	令和2年度 愛媛県保育士等 キャリアアップ研修	主幹保育 教諭 保育教諭	前期 ①乳児保育 ②幼児教育 ③障がい児保育 ④食育・アレルギー対応 後期 ⑤保健衛生・安全対策 ⑥保護者支援・子育て支援 ⑦マネジメント研修 ⑧保育実践研修	オンライン
9	2020.11.13	令和2年度 第3回 松山市地域子育て 支援拠点事業研修会	指導保育 教諭	講演「松山市における母子保健事業の幼児健康診査及び発達相談、 養育支援訪問事業について」 グループ討議・情報交換	松山市
10	2020.10.20	「野宿者を支援する会」代表 東岡牧 報告会	園長 主幹保育教諭 指導保育教諭 保育教諭	野宿する人の人生に寄り添って	松山市
11	2020.12.25	相互研修	保育教諭	講演「表現するって楽しいね！！」	松山市
12	2020.11.25	中堅保育士・保育教諭研修会	保育教諭	講義「職場で求められるリーダーシップを高めよう」	松山市
13	2020.12.14	令和2年度 愛媛県教育・保育施設長 研修会	園長	講義Ⅰ 人材育成Ⅰ「採用から育成までの園長の役割」 講義Ⅱ 人材育成Ⅱ「ハラスメント未然防止こそ最強の切り札」	オンライン
14 中止	2020.12.10	保育所等給食・食育担当者研修会	調理員	講話「乳幼児期の口腔機能に着目して食育を考える」	松山市
15	2020.12.2	令和2年度 第4回 松山市地域子育て 支援拠点事業研修会	保育教諭	講義「地域子育て支援拠点事業を通じた子育て支援の重要性について コロナ禍だからこそ」	松山市
16	2020.11.28	2020年度 第1回 職員研修会	指導保育教諭	食育について	松山市
17	2020.12.5	全体研修会	保育教諭	講義「人生100年時代の育児法」「発達障害への理解と対応法」	松山市
18	2021.2.16) 2021.3.8	令和2年度 社会福祉法人経営者研修会	園長	講義「今、一番大切にしたい人を大切に経営とは」「職員が安心して、 生き生きと働ける職場づくりのために」「労働関係法令改正に伴う 主要な課題について～働き方改革、労働災害防止等～」 「コロナ禍におけるエッセンシャルワーカーのメンタルヘルス」 特別講義「コロナ禍において心身の健康を守るために」	オンライン
19 中止	2021.2.6	体育研修	保育教諭	講義「指導者と子どものかかわり方！」	松山市
20 中止	2021.2.2	給食担当者研修会	調理員	講義「子どもたちの未来を輝かせるために ～幸せの種をまこう～」	松山市
21	2021.2.20	2020年度 松山市子ども子育て連絡協議会 第2回 職員研修会	保育教諭	「赤ちゃん体操」「幼児の体操」	松山市
22 中止	2021.3.23	松山市保育会 代議員会		令和2年度 事業報告(案)・令和2年度会計報告(案) 令和3年度 事業計画(案)・令和3年度会計予算(案)	松山市

※子ども・子育て連絡協議会について

行政説明会、打ち合わせに園長が参加する。16の第1回職員研修会で、食育の取り組みについて発表する。

2020年度(令和2年度)
ガリラヤ荘 事業報告

〔事業の種類〕

- | | |
|-------------------------------|---------|
| I. 特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設入所者生活介護) | 定員 80 名 |
| II. ショートステイ(〔介護予防〕短期入所生活介護) | 定員 20 名 |
| III. デイサービス(〔介護予防〕通所介護) | 定員 35 名 |
| IV. ホームヘルプサービス(〔介護予防〕訪問介護) | |
| V. 居宅介護支援事業所(居宅介護支援) | |
| VI. 在宅介護支援センター(委託事業) | |

1.ガリラヤ荘(全体)

取組事項	取組内容
命と尊厳を守り安心して生活できる施設づくり	<p>① 基礎介護力を高め、多職種協同によるトータルケアの実践(「食べる口」から「出す口」まで尊厳あるケア)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 内部研修(基礎介護研修)開催 <u>(新型コロナウイルス感染症対策としてすべて中止)</u> ■ 朝礼(全体)の開催〔月～土〕 ■ ミールラウンドによる摂食嚥下機能検討/評価の開催〔月 1 回〕 <p>② 利用者の自立をサポートするためノーリフティングケアの実践(拘縮・褥瘡予防の抱え上げないケア)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 多職種共同による個別ケースの評価と実践 <p>③ 利用者の人権、プライバシーの保護と共に、虐待防止・身体拘束廃止の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 身体拘束・虐待防止委員会開催〔全 12 回〕 <u>(新型コロナウイルス感染症対策として書面開催)</u> ■ 内部研修(拘束虐待防止)開催〔全 2 回〕 <u>(新型コロナウイルス感染症対策として書面開催)</u> <p>④ インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症予防の徹底(集団発生 0 件目標に対し発症 0 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 衛生管理委員会開催〔17 回以上臨時を含む〕 <u>(新型コロナウイルス感染症対策会議を含む)</u> ■ 内部研修(感染症)開催〔全 2 回〕 <u>(新型コロナウイルス感染症対策として一部書面開催)</u>
在宅生活の支援	<p>① 地域関係期間と連携し、地位沖の福祉ニーズを捉えて地域包括ケアを推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域包括支援センターとの連携〔各種会議・研修参加〕 ■ 関係機関との連携(東温市生活支援協議体、介護ネット東温、東温市健康相談) <p>② 在宅生活をトータル的にサポートするために在宅部門の連携(トータルケアの実践・ノーリフティングケアの提案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ トータルケア・アセスメントシートと記録シートの活用 ■ 施設内研修(基礎介護/ノーリフティングケア)参加 <u>(新型コロナウイルス感染症対策としてすべて中止)</u>
地域・広報活動の充実	<p>① 地域における公益的な取組として、地域活動の推進(男性介護対象のおとこ塾・地域サロンへの出前講座)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域サロンへの出前講座 <u>(新型コロナウイルス感染症対策としてすべて中止)</u> ■ おとこ塾(男性介護者支援の会) <u>(新型コロナウイルス感染症対策としてすべて中止)</u> <p>② 幼稚・保育園・学校との交流と、住民ボランティアの積極的受入(地域住民防災組織との連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 各交流会開催(川上幼稚園、川内保育園、川上小学校) <u>(新型コロナウイルス感染症対策として中止)</u> 一部オンライン交流会を開催(川上小学校) ■ 各ボランティア受入 <u>(新型コロナウイルス感染症対策としてすべて中止)</u>

	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域自主防災組織連携(防災合同訓練) <u>(新型コロナ感染症対策として中止)</u> <p>③ ホームページ・ブログ等による情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ブログ配信継続(https://www.ailinen.jp/)
やりがいを感じ働きやすい職場づくり	<p>① ノーリフティングケアの実践による労働環境改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 介護機器(リフト、移乗用具)の導入とフォローアップ <p>② スタッフ心得の徹底(えがお大賞実施)と職員育成の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 新型コロナウイルス感染症対応に伴う、メンタルヘルスの強化(情報配信・感染対策) ■ 内部研修(職員会)開催 <u>(新型コロナ感染症対策とし中止し、書面による伝達)</u> ■ 人事考課・面談の実施(6月・11月) <p>※)新型コロナウイルス感染症収束まで、実践事例発表会は中止。 ※)えがお大賞は廃止し、全スタッフを労う対応に変更。</p> <p>③ リフレッシュ休暇及び年次有給休暇の計画的取得とストレスマネジメント対応(ストレスチェック実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ストレスチェック実施(NPO 法人こころ塾との従業員支援事業委託の締結) ■ リフレッシュ休暇取得推進(最大7連休または分割取得)
安定運営の確保	<p>① 事業所毎の目標数値設定とコスト(ムリ・ムラ・ムダのない)管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 運営会議での稼働分析[全12回] ■ 部長課長会議の開催(毎月)

1.-2 その他活動報告 (移転10年以上経過に伴う施設設備・備品の見直し検討・実践)

- 各倉庫・書庫の整理を推進
- 通信設備・OA機器管理の見直し
 - ・業務用携帯電話の見直し …… 必要台数の見直しを行い、再契約。
 - ・ネットワーク環境の見直し …… Wi-Fi設備の導入
 - ・電話器(外線・内線)の見直し …… 必要台数の見直し及び機器不良の確認を行い、次年度検討
 - ・インカム機器の導入 …… 新型コロナウイルス感染症対策として、デイサービス・特養(相談員ほか)に導入
 - ・オンライン設備の導入 …… 新型コロナウイルス感染症対策として、WEBカメラ等の導入
 - ・コピー機の新規購入 …… 経年劣化に伴う
- 施設設備の課題改善
 - ・玄関自動ドア開閉障害 …… 玄関地面の隆起により、自動ドアの開閉に障害が出たため、修繕工事実施。
 - ・水質による設備トラブル …… 東温市の水質について硬度が高いことで、温水関係機器(洗面・トイレほか)の故障修理が増加したため、水質改善として軟水機器の設置を実施。

1.-3 新型コロナウイルス感染症対策に関する報告

① 感染対策設備・備品

①-1 必要物品のリスト化し、感染対策備品管理を実行

- ・ 不織布マスクについて全スタッフへ随時支給を
- ・ フェイスシールドの支給及び、食事介助時の装着
- ・ 共用箇所への手指消毒用アルコール(足踏み式)の設置
- ・ 防護具セットの準備と設置(初期対応分)
- ・ 非接触型体温計、パルスオキシメーターの増量及び必要スタッフの携帯(訪問介護員等)

①-2 感染対策設備（環境）

- ・ 玄関風除室の再整備（訪問者の感染対策）
- ・ デイサービス利用者の出入り場所変更
- ・ 職員出入口の再整備（職員の感染対策）
- ・ 食事テーブルへの飛沫防止パネルの設置（デイサービス）
- ・ オゾン発生装置（有人/無人除菌用）の設置（事務室・会議室・面談室/ほか）
- ・ デイサービススタッフのインカム導入、特養生活相談員等のインカム導入

② 事業所の対応

②-1 特別養護老人ホーム

- ・ 面会方法の見直し（窓越し面会・面談室面会・オンライン面会）
- ・ 各ボランティア・訪問理美容・訪問マッサージ 等の受入見直し
- ・ 全体イベントの見直し

②-2 短期入所（ショートステイ）

- ・ 受入時の健康状態の確認
- ・ 新規利用・受入期間の調整
- ・ 面会方法の見直し（窓越し面会・面談室面会・オンライン面会）
- ・ 各ボランティア・訪問理美容・訪問マッサージ 等の受入見直し
- ・ 全体イベントの見直し

②-3 通所介護（デイサービス）

- ・ 受入時の健康状態の確認
- ・ 新規利用・受入期間の調整
- ・ 体験利用等の調整
- ・ 各ボランティア 等の受入見直し
- ・ 全体イベントの見直し

②-4 訪問介護（ホームヘルプ）

- ・ 受入時の健康状態の確認
- ・ 新規利用・受入期間の調整

②-5 居宅介護支援

- ・ 各事業所・地域との連携

③ スタッフの対応

③-1 行動自粛制限

- ・ 県内・市町の感染状況に合わせて、行動自粛制限を実施（同居族を含め）
- ・ 県外移動について、事前申告し、必要期間自宅待機及び抗原検査等を実施（同居家族を含め）

③-2 体調管理

- ・ 出退勤時2回の検温測定実施（非接触型体温設置）
- ・ 体調不良はすべて自己判断せず、自宅待機の上、受診結果対応の実施（同居家族を含め）

③-3 施設内移動制限

- ・ 配属先から移動は最低限とし、更衣室・休憩室の使用制限（3密回避）
- ・ 会議等は最低限とし、書面による開催・オンラインによる開催実施。

2. I. 特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設入所者生活介護)

2.-1 入所者の状況(令和3年3月31日現在)

【入所・退所状況】

待機者数(令和3年3月末現在 30名)

入 所			退 所		
男	女	計	男	女	計
5	16	21	8	13	21

【年齢構成】

	男	女	全体
入所者数	16	64	80
平均年齢	86.2	89.8	89.1
最高齢	98	103	-
最年少	75	66	-

【要介護度別人数】

要介護度	男	女	計
1	0	2	2
2	0	0	0
3	3	13	16
4	6	32	38
5	7	17	24
平均	4.25	3.97	80

2.-2 医療の状況

【入院状況】

	実人数	延日数
4月	3	32
5月	5	73
6月	6	93
7月	7	120
8月	6	56
9月	4	77
10月	7	57

	実人数	延日数
11月	5	84
12月	7	143
1月	9	164
2月	6	107
3月	7	110
合計	72	1116
月平均	6	93

【入院疾患別人数(延人数)】

疾患名	今年度	前年度
肺炎	10	19
尿路感染	4	7
肝機能障害・胆のう炎	0	5
腸閉塞・腸炎	3	4
心疾患	6	3
脳梗塞	2	2
骨折	3	1
その他	14	11
合計	42	52

【医療管理状況】

医療行為	今年度	前年度
胃ろう	7	5
在宅酸素療法	2	2
人工肛門	1	0
尿道留置カテーテル	2	0
インシュリン注射	0	0
痰の吸引(常時)	0	0
合計	11	7

※緊急搬送回数 1回(前年度0回)

《総評》

入居者の重度化は年々増しており、入居者個人の抱える疾患がとて多く、昨年度と比較しても医療管理の必要度が高まっている。また、コロナ禍での介護技術の研修を延期中止となったことも、ひとつの要因として考えられる。令和元年度から導入したノーリフティングケアは引き続き継続し、入居者の拘縮予防と職員の腰痛予防に努める。

2-3 機能訓練の状況

【週間スケジュール】

	担当	月	火	水	木	金	土
午前	ユニット職員	集団体操(各ユニットにて)					
	機能訓練指導員	個別機能訓練(南1)	ダブルチェック	個別機能訓練(中1)	個別機能訓練(中2)	個別機能訓練(南2)	個別機能訓練(フリー)
	ユニット職員	お口の体操(各ユニットにて)					
午後	機能訓練指導員	レクリエーション:風船バレー・音楽クラブ(各週1回程度) クラブ活動:縫布クラブ(第1火曜)・習字クラブ(第2水曜) 俳句会(第4水曜)※ <u>新型コロナ感染症対策として中止</u>					
	理学療法士(非常勤)		個別機能訓練 練宮岡PT	個別機能訓練 練十全PT		個別機能訓練 練宮岡PT	

※)十全PTについて、新型コロナ感染症対策に伴い中止

【機能訓練内容】

職種	内容	
ユニット職員	生活リハビリ	離床、ポジショニング・シーティング、口腔ケア・リハ、座位・立位訓練など
	集団体操	朝の集団体操、お口の体操
機能訓練指導員	個別機能訓練	関節可動域訓練、ポジショニング・シーティング、口腔リハ、座位・立位訓練など

	集団活動	集団体操(朝の集団体操、お口の体操) 集団レクリエーション(音楽クラブ、風船バレーなど)
理学療法士(非常勤)	個別機能訓練	関節可動域訓練、ポジショニング・シーティング、立位、歩行訓練、生活リハビリの指導など

【外部専門家によるスーパーバイズ】

	内容
河野歯科医師	・個別の歯科治療(随時) ・「口腔衛生管理体制加算」のための介護職への口腔衛生指導(月 1 回) ・「口腔衛生管理加算」のための口腔内チェック(月 1 回)
阿部歯科衛生士	・「口腔衛生管理加算」のための口腔ケア(月 2 回) ・「経口移行」「経口維持」のためのミールラウンド(月 1 回)

【機能訓練実施状況】

※R3 年度年間実施件数をあげてみました。

機能訓練内容	延べ人数
①身体運動機能(うち宮岡 PT)	947(779)人
②摂食嚥下機能	129 人
③認知言語機能	18 人
④集団活動	1443 人

《総評》

- ① ノーリフティングに取り組むことで、適切な移乗・排泄・入浴動作の獲得を目指す。

2019 年(令和元年度)からノーリフティングケアを開始し、2020 年(令和 2 年度)は定着の年として実践。特に移乗時の方法については、新入居時や退院時、また状態が変化した場合に、PT の指導を仰ぎながら、ST・介護職協働で、適切な方法の検討を行うことができた。また、トイレ用スリングシートやスカイリフト(移乗・立位支援)を使用することで、トイレ使用を継続できている人がいることは、取り組みの成果だと考える。スカイリフトについて、導入時と比較し、現在は使用目的として、トイレ使用時の立位保持、入浴時の着脱衣にて特に効果が得られており、その特徴を生かして、使用者の選定ができてきていると考える。

- ② アンカーサポート・バックサポート等を適切に使用し、適切なポジショニングを行う。

ポジショニングについて、対象者の状態が変化する都度、PT の指導を仰ぎながら、ST・介護職協働で、適切な方法の検討を行うことができた。選定に適切な福祉道具を保有していない場合もあるが、タオルやクッションなど代替品を使って、様々な工夫をして対応することができた。ポジショニングカード作成し、対応の統一を図り、概ね統一できているが、状態状況の変化に対し対応の共有が不足し、対象者の現状に合わないこともあり、今後の課題とする。

- ③ 口腔ケア(リハビリ)の周知徹底を目指す。特にお口の体操の実施を徹底する。

口腔ケアは丁寧に実践できている。口腔リハビリについて、個別マニュアルを作成している人に対しては、概ね対応できているが、集団でのお口の体操は未実施の状況がみられる場合がある。今後の課題とし、その必要性や効果について再度周知を図っていきたい。

- ④ その他

新型コロナウイルス感染症の影響で、歯科衛生士の訪問中止、十全 PT の訪問中止、ボランティアの訪問中止、各ユニット間の交流の中止など、機能維持や楽しみの提供に関して、非常に難しい 1 年であった。それらに変わる取組を今後の課題として検討していきたい。

2-4 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
トータルケアの実践 多職種協働システム	<p>《全部門》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 総合記録シートを活用したケア向上の継続実施〔記録システムの継続〕 ■ オペレーションシート(シフトマニュアル)を活用した統一したケアの実施〔業務マニュアルの継続〕 ■ 多職種連携室を情報共有拠点とした会議、ミーティングの実践〔多職種共同による情報共有〕
資質向上 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ■ 定期面談(年2回)の実施と業務評価によるフィードバックの実践 ■ 新卒採用者研修体制の実践 ■ リフレッシュ休暇の取得(正規職員7連休または分割取得)
イベント企画 環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全体イベント(新型コロナウイルス感染症対策として中止) ■ ユニットイベント継続(ユニットの取組参照)
研修運営	<ul style="list-style-type: none"> ■ 基礎介護研修会等(新型コロナウイルス感染症対策として中止) ■ リーダー対象勉強会(一部書面またはオンライン開催として実施)
ノーリフティングケア	<p>「目的」:居者の拘縮予防及び職員の腰痛予防のため。</p> <p>【研修関係】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スカイリフト研修を新人研修内で実施。(R2.4.2) 2. 新規使用者への導入時に随時研修実施し、使用状況チェック実施。 3. 愛媛県立医療技術大学にてスカイリフト研修実施(R2.8.11) 4. 愛媛大学医学部看護科実習時スカイリフト研修実施(R2.9-11 にかけて3回) <p>【福祉機器の使用状況】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 移乗時:床走行式リフト(27人)/フレックスボード(3人)/スライディングボード(8人) /ターンテーブル(1人) 2. トイレ・入浴時:スタンディングマシン(6人) <p>【成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 聞き取り調査より <ul style="list-style-type: none"> ・ 腰への負担は軽減している。 ・ 時間的な短縮についてはあまり感じられないが、2人介助が必要な人に1人介助で可能なので、心理的には楽になっている。 ・ トイレ座ることで、しっかりといい便を出すことができている。 ・ 機能低下に伴い今までであれば、トイレ使用からオムツ介助になっていたような方が、スカイリフトを使用することによって、トイレ使用が維持できている。 2. 腰痛調査アンケート結果より(別紙参照) <ul style="list-style-type: none"> ・ 腰痛あり(常に痛い～たまに痛い)R1.5月 67.3%→R2.1月 53.1%→R3.3月 63.0% ・ 上記のうち(常に痛い)人は R1.5月 8.4%→R2.1月 6.3%→R3.3月 5.2% と減少。

2.-4 ユニットの取り組み

【中1丁目】

年間ユニットイベント(実績)

4月	お花見昼食会	10月	芋炊き
5月	お好み焼きパーティー	11月	どら焼きづくり
6月	七夕飾りづくり	12月	クリスマス会 / 忘年会
7月	七夕飾りづくり	1月	新年会
8月	たらいそうめん	2月	節分
9月	お月見団子づくり	3月	ティーパーティー

【南1丁目】

年間ユニットイベント(実績)

4月	お花見昼食会	10月	芋炊き
5月	つつじ鑑賞	11月	手作りおやつバイキング
6月	喫茶	12月	クリスマス会 / 忘年会
7月	たらいそうめん	1月	新年会
8月	すいか割り	2月	節分豆まき
9月	おはぎづくり	3月	甘酒づくり

【中2丁目】

年間ユニットイベント(実績)

4月	お茶会	10月	芋炊き
5月	散歩	11月	季節のおやつ作り
6月	手作りおやつ	12月	クリスマス会・忘年会
7月	そうめん流し	1月	新年会
8月	すいか割り	2月	節分豆まき
9月	お月見団子づくり	3月	ひなまつりパーティー

【南2丁目】

年間ユニットイベント(実績)

4月	お花見昼食会	10月	芋炊き
5月	お茶会	11月	スイートポテトづくり
6月	あじさい鑑賞	12月	クリスマス会 / 忘年会
7月	たらいそうめん	1月	新年会
8月	すいか割り	2月	節分豆まき
9月	お月見団子づくり	3月	おやつバイキング

《総評》

目標稼働率 97.5%に対し 96% 総延べ入院(外泊)日数 1116 日。

R2年度について、基礎介護力の継続と合わせ、排泄ケア方法、ノーフティンクケア方法を継続的に実践できた。特にノーフティンクケアについて、入居者の拘縮・褥瘡予防またスタッフの腰痛解消の効果が見られており、令和3年度も引き続き実践していきたい。入所者の状況について、平均要介護度 4.1(年度末)となり、身体的・精神的に重度化傾向の中、全国的な新型コロナウイルスの蔓延に伴い、前年度とは、まったく異なる対応(イベントや研修等の中止など)となったことを振り返り次年度の課題としていきたい。

3. II. ショートステイ(介護予防)短期入所生活介護)

3-1 利用状況(令和3年3月31日現在)

【利用状況】

延べ人数	男	女	計
予防短期入所	0	56	56
短期入所	889	4526	5415
合計	899	4582	5471
平均利用者数	2.44	12.6	14.9

実人数	男	女	計
東温市	17	28	45
松山市	1	8	9
砥部町	0	1	1
松前町	1	1	2
合計	19	38	57

【要介護度別延べ人数】

要介護度	男	女	計
要支援1	0	3	3
要支援2	0	50	50
要介護1	55	248	303
2	214	345	559
3	565	2,747	3,312
4	35	1,177	1,212
5	20	12	32
計	889	4,582	5,471
平均要介護度	2.7	3.0	3.0

3-2 ユニットの取り組み

【北2丁目】

年間ユニットイベント(実績)

4月	春の会食	10月	芋炊き
5月	豆ごはんづくり	11月	炊き込みご飯づくり
6月	おやつ作り	12月	クリスマス会 / 忘年会
7月	たらいそうめん	1月	新年会
8月	かき氷	2月	節分豆まき
9月	お月見団子づくり	3月	ちらし寿司づくり

《総評》

目標稼働率 90%に対し75% 一日の平均利用者 14.9 名

「安心した在宅生活を送れるよう支援する」ため、「総合記録シートを活用し、多職種間で情報を共有し事例検討」を行った。結果、ユニットでの記録の見直し、観察による異常の早期発見をもとに多職種によるアセスメントを行い、丁寧なケアの見直しを行うことができた。また、居宅介護支援事業所や近隣病院等への広報活動や情報サイトの空室情報の利用を行った。実績として、ロング利用者の特養入所や、入院による退所、定期利用の新規獲得ができず、稼働が低下する結果となった。今後はさらに定期的な近隣病院の SW への広報活動に力を入れていきたい。

4.Ⅲ. デイサービス（〔介護予防〕通所介護）

4-1 利用者の状況（令和3年3月31日現在）

【利用状況】稼働日数 310 日

延べ人数	男	女	計
通所介護	1,996	4,638	6,634
総合事業(独自)	326	777	1,103
総合事業(A型)	0	0	0
合計	2,322	5,415	7,737

登録者人数	男	女	計
東温市	25	43	68
松山市	1	0	1
合計	26	43	69

【要介護度別延べ人数】

要介護度	男	女	計
事業対象	0	0	0
要支援1	135	51	186
要支援2	191	726	917
要介護1	713	1,177	1,890
2	1,035	1,897	2,932
3	231	1,452	1,683
4	17	69	86
5	0	43	43
計	2,322	5,415	7,737
平均要介護度			1.8

4-2 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
個別ケアの実施	<p>① 在宅版総合記録シートを活用。情報の共有による個々の体調管理をサポート。ノーリフティングケアや口腔ケア等きめ細やかなサービス提供を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ミーティングの強化(朝礼・終礼)による情報共有の実施 ■ 在宅版総合記録シート、送迎シートの活用 ■ HOL(happiness of life)の提供を目指して、アクティビティの充実を図り、利用者の笑顔を増やす。 ■ 紙芝居劇場やスタッフの趣味特技(ギター・篠笛など)を活かしたアクティビティの実践 <p>② マシントレーニングや個別機能訓練等を取り組むことにより、利用者の在宅生活継続と身体機能の維持を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ マシントレーニングの実施(利用者約7割実施)。体力測定(利用者約4割実施) ■ 小集団体操(5名以下)の強化 <p>③ 認知症利用者が役割を持ち、在宅で穏やかに生活できるように寄り添った支援をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 奉仕活動(洗濯物干し、洗濯たたみ、メモ紙づくり、シール貼りなど)の実践 ■ 脳トレプリントの工夫(スタンプラリーによる景品提供)による意欲向上
地域との交流	<p>① 地域サロン等へ参加し、地域住民との関係を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ コロナの影響で地域サロン参加できず <p>② 突合や意見交換会などへの参加により、地域の動向を知り、介護・医療連携を図ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 突合が開催された月は参加したが、コロナの影響で中止になることが多かった。 ■ 意見交換会も中止 <p>③ ボランティアの受け入れや地域(保育園・学校等)、家族(家族会等)との交流の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ オンラインで川上小学校4年生と交流(4回) ■ 近隣の小中学校、幼稚園等の卒業・卒園シーズンにメッセージカードを届けた
職員研修	<p>① ノーリフティングケアの環境整備や勉強会を実施し、利用者や職員の身体的負担軽減を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ デイにリフトはあるが、勉強会や使用には至っていない。 <p>② 施設内・外研修への参加や他施設への見学を行い、基礎介護力とサービスの質の向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 内部研修は概ね文書回覧。デイ向上会でデイでの勉強会を3月より開始。 ■ 外部研修「安全運転者研修」参加 <p>③ 業務内容の見直し(記録システムの改善、休暇取得できる体制作り等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 個別機能訓練の記録用紙を一部チェック方式に変更 ■ 休暇の希望確認をして、希望の日に休めるよう調整
安定運営の確保	<p>① 毎月の実績に関心を持ち、車輛や備品管理等のコスト意識を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 毎月デイ会議内で利用者の動向を共有して、コスト意識に関する周知 ■ 送迎車両へのドライブレコーダーの導入による安全運転意識の向上し、事故減少 <p>② 行事予定表とブログの充実を図り、広報・営業活動を通じて新規利用者の獲得を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 行事予定表の工夫(スタッフ通信、前月の活動報告など)、HOLのブログでの取り組み発信 ■ 居宅介護支援事業所訪問でのPR活動(体験利用者29名、新規利用者19名) <p>③ 安定した運営のためのコスト意識をもち、新たな加算取得を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ R2年度、要支援の「事業所評価加算」追加

4.-3 その他の状況

内容	件数	備考
苦情解決件数	0	
事故報告件数	14	受診を伴う、市への事故報告なし
ヒヤリハット件数	79	ヒヤリハットの用紙を作成

《総評》

目標数値を大きく下回る結果となった。その要因の1つは新型コロナウイルス感染症であるが、それ以上に広報活動不足や入所や死去による利用終了の増加もあったと考えられる。広報活動ではちらしを作成し配布を行ったが、広範囲への配布を考え、利用に繋がるような工夫をさらに検討していく必要があった。さらにブログ更新を含め、情報発信に努めていきたい。

新型コロナの影響で施設全体での勉強会や研修の機会が減り、スキルアップを図る機会が減っているため、デイサービス内において「デイ向上会」を立ち上げ、提案事項の他に毎月30分程の勉強会をすることができた。

職員数の変動により、R3年度「サービス提供体制強化加算Ⅰ」の取得ができなかったため、今後の課題とする。

地域との交流等、感染対策の中、新しいアクティビティを取り入れて、利用者の笑顔と健康を守れるように支援していきたい。

5. IV. ホームヘルプサービス(訪問介護)

5.-1 利用者の状況(令和3年3月31日現在)

【利用状況】

延べ人数	男	女	計
身体介護	479	724	1,203
身体生活	26	618	644
生活援助	344	1,017	1,361
訪問型独自	170	568	738
計	1,019	2,927	3,946
平均利用者数			

【要介護度別利用人数】

要介護度	男	女	計
要支援1	2	91	93
要支援2	168	477	645
要介護1	184	1,229	1,413
2	328	4	332
3	48	237	285
4	0	647	647
5	289	242	531
計	1,019	2,927	3,946

【要介護度別延べ人数】

要介護度	男	女	計
事業対象	0	0	0
要支援 1	2	11	13
要支援 2	31	56	87
要介護 1	19	75	94
2	18	0	18
3	8	34	42
4	0	17	17
5	9	11	20
計	87	204	291
平均要介護度			

5-2 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
在宅生活の維持	① ケアマネジャーやサービス事業者と情報共有を密にしながら利用者の体調管理に努める ② サービス担当者会議へ参加し関係機関との情報交換を図る ③ 利用者だけでなく、家族との交流も深め、問題の把握に努める。
職員研修	① 施設内研修への参加を通し全体の資質の向上を図る。 ② ホームヘルパー会(毎月)を開催しヘルパーの専門性の向上と情報共有を図る ③ 介護ネット(東温市)や、各事業所間の突合へ参加し意見交換や情報収集を図る
安定運営の確保	① ホームヘルパー会での安全なサービス提供や接遇に関する学習を図る ② 介護支援専門員と連携し、広報活動を積極的に行い、新規利用者の獲得を目指す ③ 東温市のみにこだわらず、通勤範囲内で松山市を含めた訪問先を増やしていく。

5-3 その他の状況

内容		備考
苦情解決件数	0	
事故報告件数	0	

《総評》

令和 2 年 12 月から保険外訪問を始め、営業活動を行う。ケアマネジャーの反応は概ね良好であったが、直近の依頼にはなかなか結び付かなかった。ニーズはあると思われるため、継続的な周知活動に努めていきたい。

現状について、実利用者数の増加はあるが、利用回数がそれほど多くなく実績に結びつかない。各職種と連携しながら可能な限り在宅生活が維持出来るような支援をおこなうことで利用回数の増加につなげたい。新型コロナウイルス対策として県外移動歴のあったヘルパーの訪問が出来ないことがあった。訪問可能なヘルパーがカバーすることで訪問の継続が出来た。

事業所のヘルパーの経験年数が 2 年以上の職員のみとなっている。能力の差も見られるが、個々の持っている長所を生かしながら訪問先で力を発揮できるような人材配置を心がけた。ヘルパーの高齢化もあり、多くの訪問先を回ることが難しくなっている。

6. V. 居宅介護支援事業所(居宅介護支援)

6.-1 利用者の状況(令和3年3月31日現在)

【利用状況】 居宅サービス担当 月間人数 予防 16 件 介護 96 件 暫定利用 0 件

利用者	予防		介護	
	男	女	男	女
東温市	4	12	29	65
松山市	0	0	0	1
計	4	12	29	66

【要介護度別利用人数】

要介護度	男	女	計
要支援 1	2	6	8
要支援 2	2	6	8
要介護 1	10	20	30
2	10	19	29
3	8	21	29
4	0	5	5
5	1	1	2
計	29	66	95

6.-2 ケアの状況<重点目標>

取組事項	取組内容
在宅生活の維持	<ul style="list-style-type: none"> ① ニーズに適合した多様なインフォーマルサービスのプランへの位置付け。 ② 家族全体を包括的に支援するマネジメントの実施。 ③ 住み慣れた地域で生きがいや役割を持った生活が送れるよう
資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ① ケアプランチェックにより、プラン内容や表現など、適切な評価が行えるプランニング技術の向上。 ② 医療機関での研修に参加し、医療知識の向上と医療連携構築を図る ③ 科学的介護の取り組みを理解し、在宅での生活の段階からデータの収集と評価をケアマネジメントへ活用
地域活動への参加	<ul style="list-style-type: none"> ① 主任ケアマネの会や生活支援体制事業(協議体)への参加により、地域住民と共に地域課題の表出や分新、提案を行うことで、施設機能の活用や地域活動に参画する。 ② 感染症予防を徹底し、サロン活動を通して、地域交流とともに介護の知識を広げる活動の実践。 ③ 男性介護者の会を継続実施し、趣味活動や家族同士の交流を図る。

6.-3 その他の状況

内容	件数	備考
苦情解決件数	0	
事故報告件数	0	

《総評》

感染症予防対策のため地域活動や会議、研修などの機会が減少した。利用者や家族との関りも制限される中、新規相談や面談などは制限することなく工夫して対応することができた。介護支援専門員の退職があり、3名体制となっている人材育成について今後の課題とする。居宅サービス担当人数については市内新規認定率も低下しており、利用率の改善には至っていないものの、担当ごとの目標平均数として予防6名、要介護30名を上回り、新規相談は年間39件で、前年と同様である。

7.VI. 在宅介護支援センター(委託事業)

7.-1 活動実績報告

【相談件数及び内訳】

	内 訳	件 数	合 計
区分	新規	33	243
	継続	210	
相談区分	家族	29	272
	本人	215	
	関係機関	26	
	その他	2	
世帯	独居	159	255
	高齢者のみ	42	
	その他	54	
相談方法	電話	21	253
	来所	41	
	訪問(電話受付)	186	
	その他	5	

【相談内容及び対応】(重複あり)

相談内容	件 数
疾病・健康	231
介護	38
在宅・福祉サービス利用	72
入所・入院	13
経済的	2
苦情	0
その他	4

対 応	件数
助言・指導	232
他機関連絡	25
申請代行	4
電話・訪問等での安否確認	13
ケアマネ後方支援	0

7.-2 ふれあい・いきいきサロン参加事業

日 時	サロン等	場 所	人数	内 容
8月19日	にこにこサロン	町西公民館	6人	認知症、フレイル予防の講話 脳トレ
合 計			6名	

7.-3 地域関連事業

	事 業 名	内 容	主 催 者
地 域 関 連 事	介護ネット東温	搜索訓練 メールでの連絡訓練	介護ネット東温
	東温市健康相談	診察相談 東温市地域包括支援センター出張窓口 介護相談及び広報支援	東温市健康推進課

業	東温市行方不明声掛け訓練 (中止)	認知症の方への声掛け	東温市地域包括支援センター
	生活支援体制整備事業	第1層・第2層協議体 「助け合い・支えあいどうおん」 地域課題の表出 月1回実施 サロン活動のインタビュー	生活支援コーディネーター

《総評》

地域支援活動については、実態把握や診察相談にて、地域の実情を把握することができた。

令和2年度は感染症対策の為サロン活動やふれあい給食の休止が続き、人的交流の減少からくる孤独感、外出への不安感からくる活動量の低下、自身の認知症予防へ心配などの声が多かった。

生活支援体制整備事業では、地域で活躍されている方へのインタビューを継続。住民参画の実情を踏まえた上で地域課題の表出を行っている。

8.各部門報告(委員会活動を含む)

8-1 防災・防犯活動

訓練項目	開催日時	参加者	内容
総合訓練 (ガリラヤ荘)	R2年9月21日(月) 13:30-15:00	利用者 110名 職員 30名	通報訓練及び全体での避難訓練終了後、簡易担架の使用訓練、消火栓を使用した模擬消火訓練。
消防訓練(東温市防災センター)	**	**	<u>新型コロナ感染症対策により中止</u>
夜間想定通報訓練 (ガリラヤ荘)	R3年4月6日(火) 13:40~14:50	職員 5名	新人職員に対し、夜間出火想定での消火訓練、夜間緊急時連絡表での非常招集訓練、避難誘導経路、防火設備実地説明を実施。
シェイクアウトえひめ (ガリラヤ荘)	R2年12月17日 (木)11:00-11:15	利用者 110名 職員 30名	愛媛県全体での地震を想定した安全行動をとる訓練を実施。
防犯訓練	**	**	<u>新型コロナ感染症対策により中止</u>

8-2 感染症対策

① 衛生管理委員会の開催

令和2年度は新型コロナウイルスまん延に伴い、毎月の運営会及び必要時には臨時開催して、対応策の変更や周知徹底を図った。

② インフルエンザウイルス及びノロウイルス等感染症報告

令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策を徹底的に行ったため、入居者・職員ともに感染者を出すことはなかった。また、風邪をひく入居者・職員もほとんどいなかったので、日ごろからの感染症対策が徹底できている証拠である。今後も様々な感染症の動向を注意深く観察しながら、引き続き感染対策を徹底していく。

③ その他

毎日の朝礼や委員会後の配布資料などで新型コロナウイルス感染症についての情報提供を行い意識づけすることで、職員が日常的に感染症予防を行う理由を理解したうえで実施できている。

8.-3 褥瘡対策

① 褥瘡対策委員会の開催(毎月)

新型コロナウイルス感染症の影響で書面開催。例年通りきめ細やかな観察・対策を行い、褥瘡予防に取り組んだ。令和3年度からは褥瘡ケアマネジメント加算も変更になったため、皮膚科 Dr を含む栄養士や機能訓練指導員など、多職種で今まで以上に褥瘡予防に取り組んでいく。

8.-4 権利擁護・苦情解決

① 権利擁護苦情相談委員会の開催(随時)※令和2年3月(ガリラヤ久米合同・書面開催)

令和2年度苦情件数 0件

8.-5 身体拘束・高齢者虐待対策

① 身体拘束廃止・高齢者虐待防止委員会の開催(毎月)

身体拘束件数 0件 高齢者虐待件数 0件

施設指針の周知、コロナウイルス感染予防のため、書面にて毎月不適切ケア等の事例検討を行い、虐待等に繋がらない環境づくりや意識付けをすることができた。コロナウイルス感染予防のため、介護相談員の来荘はなかつたが、利用者様ごとに安全を確保する環境づくりをする際や、困難事例の際は安全を保ちつつ、拘束廃止、虐待防止の観点から、利用者様一人一人を尊重した、支援を行った。

8.-6 栄養対策

① 給食委員会の開催(毎月)

栄養ケアマネジメントを実施。利用者の摂食状況や提供方法、献立等について施設長、各事業所職員、多職種、委託業者と検討。「人として最期まで口から食べる」ことに重きをおき、ソフト食・やわらか食を提供。また、便秘対策のため食物繊維の多い食事の提供を継続実施。一人ひとりの身体状態や嗜好を考慮した個別対応を行い、季節感のある食材や行事食を取り入れ、食事イベントを行い、利用者により一層満足していただける食事提供に努めていきたい。

8.-7 事故対策

① 安全委員会の開催(毎月)

委員会において、月のヒヤリハットや事故の件数や時間帯などの分析を行った。また、個々の事例についても再発防止や注意喚起につながるものなどについて状況報告書を添付して職員への周知に努めた。今後も事例検討を重ね、起きてしまった事故が風化することなく、再発防止や重大事故を未然に防ぐことにつながるよう努力していきたい。

② 事故・ヒヤリハット報告

I 月別発生件数(事業所別)

月	特養	短期	計
4月	32	15	47
5月	44	11	55
6月	39	22	61
7月	37	23	60
8月	35	10	45
9月	41	12	53
10月	46	14	60

11月	49	13	62
12月	62	17	79
1月	35	7	42
2月	45	11	56
3月	52	13	65
総計	517	168	685

II 内容別発生件数

	計
転倒※1)	72
転落※2)	55
他※3)	74
内出血	286
服薬ミス(誤薬以外)	49
表皮剥離	46
傷	24
異食	6
在宅酸素ミス	4
食事提供ミス	4
誤薬	1

	計
転倒(未遂)	38
転落(未遂)	14
服薬ミス(未遂)	5
異食(未遂)	7
総計	685

※1) 立上りや歩行での転倒

※2) 車椅子、椅子、ベッドなどからのしりもち、座り込みを含む

※3) 原因が特定されない軽症や事故危険があったものを含む

III 報告レベルの内訳

※ヒヤリハットを含む、すべての事故報告

I	ミスをしたまたは異常なし	527
II	バイタル異常または看護師による処理	146
III	病院受診	9
IV	入院加療が必要	3
V	後遺症が残るあるいは死亡	0
総計		685

IV 受診及び市事故報告提出の内訳

事業所	内容	受診	市報告	
【特養】	6/24 転倒	6/25	6/26 7/9	※車椅子移乗(レントゲン検査し骨折なし)
【特養】	7/27 転落	7/27	7/27	※車椅子座位(頭部CT撮影、レントゲン検査し異常なし。)
【特養】	8/21 転倒	8/21 8/22	8/25	※歩行独歩(8/21 レントゲン検査し、右多発肋骨骨折と軽度の肺気胸あり。バスタバンド固定して一時帰荘。8/22 レントゲン検査、胸部CT撮影し、右多発肋骨骨折と右血胸にて入院)
【特養】	9/4 転倒	9/4	9/7	※歩行独歩(レントゲン検査し異常なし)
【特養】	10/21 転倒	10/22	10/23	※歩行独歩(レントゲン検査し左大腿部頸部骨折にて入院)

【特養】	11/18 内出血、膨張	11/18	11/24	※歩行独歩(レントゲン検査し異常なし)
【特養】	12/9 転倒	12/9	12/15	※歩行歩行器(レントゲン検査し異常なし)
【特養】	12/12 転落	12/12	12/16	※車椅子移動(頭部CT撮影し異常なし。)
【特養】	12/31 転倒	1/1	1/7	※車椅子移乗(レントゲン検査し左上腕近位端骨折、肺炎にて入院)
【短期】	12/29 転落	1/5	1/8	※車椅子座位(診察受け異常なし。)
【特養】	1/16 転倒	1/17	1/20	※歩行独歩(レントゲン検査、頭部CT撮影し異常なし。)
【特養】	1/31 転倒	2/1	2/4	※ソファ立ち上がり(頭部CT撮影し異常なし。)

	受診件数	市報告件数
特養	11 事例 12 件	11 事例 12 件
ショートステイ	1 事例 1 件	1 事例 1 件
総計	12 事例 13 件	12 事例 13 件

(考察)

全体件数として、前年度と比較し 50 件の減少となった。インシデントレベル(ヒヤリハット記録)が、全体の約 8 割近くを占めている。アクシデントとして認めるレベルⅢ以上については 12 件となり、前年度と比較して 11 件の減少となった。12 件の事例で 13 件の受診を行い、同数の 12 事例 13 件の事故報告を市に行った。そのうち 3 事例では入院にて加療を要するものであり、うち 1 件は身体状況と介助方法に起因する事例であり、入念な原因究明と再発防止に向けて、介助方法についても確認し、再発防止に向けて検討を行った。その他の事例においても、原因を特定した上で介助方法や環境整備の検討を行い、再発防止策の検討とその共有、伝達を行った。事故後に身体状況を確認しないままに体を動かしてしまうケースもあり、身体状況を確認した上で慎重に体を動かすよう伝えた。

服薬ミス・誤薬について、未遂を含む総件数 55 件となり前年度と比べて 2 件の減少にとどまった。床などの場所に落ちていた薬を見つけた服薬ミスの発生が多く、これは服薬後に薬を吐き出したものと考えられるケースがであり、服薬方法を変更するなどの対処方法で再発防止に努めた。他の利用者の薬を飲む誤薬について 1 件発生し、マニュアル内で取り決めている W チェックを怠ってしまったことが原因であった。施設全体で手順を再確認し再発防止に努めた。

安全委員会活動では、毎月の事故発生件数の報告と分析を行うことで、事故の発生しやすい時間帯や状況などを共有し、施設全体に向けて再発防止に向けての注意喚起を行った。各ユニットから起きた事例を施設全体にも周知することで、再発防止策も共有することに努めた。特に重大な事故においては周知に努め、他ユニットで起きたこととして捉えるのではなく、施設全体としての課題として捉えられるよう共有化に努めた。

全体研修としてはリスクマネジメント研修会を開催し、リスクマネジメントについて学ぶとともに、1 年近くのデータから事故の起きやすい時間帯や場所などを伝え、注意喚起を行った。

9.行事・施設内研修・実習等受入の状況

	全体行事等	施設内研修	実習等受入
4	入職式 森地区清掃 【中止】永眠者記念会	新人職員研修	
5	【中止】花の日訪問 【延期】全館ワックスがけ	身体拘束虐待防止研修【書面開催】	
6	【中止】花の日訪問 【中止】防災訓練(南方東自主防災会合同)	衛生管理食中毒研修【書面開催】 衛生管理新型コロナ対策研修Ⅰ	
7	【中止】消防訓練(東温市防災センター) 【中止】夏休み1日体験事前体験	リスクマネジメント研修【書面開催】 衛生管理新型コロナ対策研修Ⅱ 第1回トータルケア勉強会(WEB)	
8	入居者レントゲン健診	高齢者ケア研究会オンラインセミナー①	愛媛医療技術短期大学講義(2名派遣) 河原医療福祉専門学校2名
9	【中止】東温市長一日施設長就任・赤ちゃんこ贈呈式 【中止】全館ワックスがけ	高齢者ケア研究会オンラインセミナー②	河原医療福祉専門学校2名 愛媛大学医学部看護科5名 松山城南高等学校1名
10	【中止】運動会 【中止】秋祭(松瀬川獅子舞保存会施設訪問)(森地区神輿・奉納踊り)	第2回トータルケア勉強会(WEB) 高齢者ケア研究会オンラインセミナー③ 看取り研修【書面開催】	河原医療福祉専門学校2名 愛媛大学医学部看護科5名 松山城南高等学校1名
11	【中止】ガリラヤ荘感謝祭2020 【中止】収穫祭り訪問(松山東雲短期大学付属幼稚園)	ユニチャームオンラインセミナー(感染予防) 衛生管理感染症対策研修【書面開催】	河原医療福祉専門学校2名 愛媛大学医学部看護科5名 松山城南高等学校4名(デイ)
12	東温市社協共同募金歳末施設訪問 東温市婦人会歳末訪問 防災訓練(水害・避難・夜間想定) 防災訓練(シェイクアウトえひめ) クリスマスツリー・クリスマスイルミネーション設営	高齢者ケア研究会オンラインセミナー④ 法令順守/守秘義務研修【書面開催】 第3回トータルケア勉強会(WEB)	
1		身体拘束虐待防止研修【書面開催】 大塚製薬オンラインセミナー(口腔ケア) 愛媛医療センターオンラインセミナー(感染対策) こふく研オンラインセミナー(人材育成)	
2			
3	【中止】家族会総会 東温市中小零細企業 PR オンライン交流会 in 東温高校	リスクマネジメント研修【書面開催】 看取り研修【書面開催】 第4回トータルケア勉強会(WEB)	河原医療福祉専門学校1名

他	通年	委員会等活動
	毎月・誕生昼食会 おやつ、お茶の時間(毎日) 訪問理容(ブルーライン・たかの子理容) 東温市移動図書館「かぼちゃん号」 嘱託医 4 名(中川 Dr 内科、八木 Dr 皮膚科、吉田 Dr 精神科、河野 Dr 歯科) 訪問販売(セブンスターとくし丸)	運営会議/部長課長会議 安全(事故発生防止)委員会 衛生管理委員会(新型コロナ対策会議含) 身体拘束廃止委員会 高齢者虐待防止委員会 給食委員会 権利擁護・苦情相談委員会 在宅委員会 入所判定委員会 デイ定例会 ユニットリーダー会/ユニット会
	クラブ活動・ボランティア等	
	〔クラブ活動〕 陶芸(隔週水曜日) 習字(月1回・第2水) 俳句会(第4水曜日) 音楽/風船バレー(各ユニット月1回) 縫布クラブ(第1火曜)	縫布ボラ(第1火曜日) 喫茶ヘリーヘリー(特養・デイ隔月) 紙芝居ボランティア(月1回デイ・月1回特養・SS不定)2月～休止 介護相談員(基本:第1火曜日) 山内さんのボランティア(第3水曜日)*2月で終了 傾聴ボランティア”笑顔に会いたい”(第4金曜日) トーンチャイムレインボー(季節毎・第2金曜日) オカリーナそよ風(季節毎・第3火曜日)

※)新型コロナウイルス感染症対策に伴い、延期・中止あり

10.施設外研修の状況

【施設外研修】

研修項目	全体		特養/SS		デイサービス		訪問介護	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
介護			2	2				
看護・保健・医療			2	2				
防災・防犯								
人材育成・マネジメント								
専門(スキル向上・資格等)			4	4				
行政(介護保険・制度他)								
財務会計								
人事・労務管理								
他	2	2	1	2			1	1
小計	2	2	9	10	0	0	1	1

※)新型コロナウイルス感染症対策に伴う

研修項目	居宅介護支援		合計	
	件数	人数	件数計	人数計
介護			2	2
看護・保健・医療			2	2
防災・防犯				
人材育成・マネジメント				
専門(スキル向上・資格等)	7	8	11	12
行政(介護保険・制度他)				
財務会計				
人事・労務管理				
他			4	5
小計	7	8	19	21

※)新型コロナウイルス感染症対策に伴う

11.職員の状況

部門等	前年度末	令和2年度当初				令和2年度中の状況			令和2年度末	常勤換算 (年度末 雇用契約)
		退職 (2.3.31 付)	入職 (2.4.1 付)	異動 (2.4.1 付)	職員計	入職	異動	退職		
特養/短期	88	-4	3	1	87	5	0	-4	88	60.2
(介護職)	62	-3	3	0	62	4	0	-2	64	41.5
(看護職)	9	0	0	0	9	1	0	-1	9	6.3
(その他)	17	-1	0	1	17	0	1 (-1)	-1	16	12.4
デイサービス	17	0	0	0	17	1	-1	-1	16	12.6
訪問介護	10	0	0	0	10	0	0	0	10	3.8
居宅	4	0	0	0	4	2	0	-2	4	3.2
計	118	-4	3	1	118	8	-1	-7	118	79.8

※)医師等嘱託契約者の数は上記に含めず

【医師4名、歯科衛生士1名、理学療法士1名(特養)、作業療法士2名(デイ)】

12.サービス別 利用状況一覧

特別養護老人ホーム「介護老人福祉施設」定員 80名・8ユニット(1ユニット定員 10名)

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
要介護	1	90	93	75	68	62	60	53	30	31	42	30	46	680
	2	60	62	60	62	53	24	31	30	0	0	0	0	382
	3	411	408	416	434	446	450	472	476	465	434	392	454	5,258
	4	877	891	880	909	956	964	1,020	1,044	1,018	1,074	1,020	1,134	11,787
	5	930	953	876	887	899	792	839	736	819	760	680	736	9,907
総計	平均介護度	4.1	4.1	4.0	4.1	4.1	4.0	4.1	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1	4.07
	延べ利用人数	2,368	2,407	2,307	2,360	2,416	2,290	2,415	2,316	2,333	2,310	2,122	2,370	28,014
	平均利用人数/1日	78.9	77.6	76.9	76.1	77.9	76.3	77.9	77.2	75.3	74.5	75.8	76.5	76.7
	稼働率	98.7%	97.1%	96.1%	95.2%	97.4%	95.4%	97.4%	96.5%	94.1%	93.1%	94.7%	95.6%	95.9%

ショートステイ「(介護予防)短期入所生活介護」定員 20名・2ユニット(1ユニット定員 10名)

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
要介護	利用実人数	24	22	23	25	24	24	25	24	25	26	25	23	24.2
	1	15	11	21	48	49	48	26	21	15	8	19	22	303
	2	45	57	50	52	71	86	67	25	26	22	26	29	556
	3	260	233	230	244	227	198	242	287	330	364	348	349	3,312
	4	157	167	136	114	93	82	76	105	120	93	35	34	1,212
	5	0	0	0	0	0	5	27	0	0	0	0	0	32
	利用延べ人数計	477	468	437	458	440	419	438	438	491	487	428	434	5,415
	平均介護度	3.17	3.19	3.10	2.93	2.83	2.79	3.03	3.09	3.13	3.11	2.93	2.91	3.02
平均利用人数/1日	15.9	15.1	14.6	14.8	14.2	14.0	14.1	14.6	15.8	15.7	15.3	14.0	14.8	
要支援	利用実人数	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	2	2	1.25
	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
	2	4	4	4	4	4	4	4	4	5	4	5	4	50
	利用延べ人数	4	4	4	4	4	4	4	7	5	4	5	4	53
	平均利用人数/1日	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.23	0.16	0.13	0.18	0.13	0.15
総計	延べ利用人数	481	472	441	462	444	423	442	445	496	491	433	438	5,468
	平均利用人数/1日	16.0	15.2	14.7	14.9	14.3	14.1	14.3	14.8	16.0	15.8	15.5	14.1	15.0
	稼働率	80.2%	76.1%	73.5%	74.5%	71.6%	70.5%	71.3%	74.2%	80.0%	79.2%	77.3%	70.6%	74.9%

デイサービス「(介護予防)通所介護」 定員 35名

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
稼働日数	26	26	26	27	26	26	27	25	26	25	24	27	311	
要介護	利用実人数	51	49	51	55	52	52	56	55	54	50	52	53	53
	1	163	141	134	137	157	161	177	156	174	167	162	161	1,890
	2	206	222	234	252	245	256	280	259	257	229	218	274	2,932
	3	172	156	143	145	144	150	153	161	130	103	110	116	1,683
	4	0	0	5	10	0	0	8	8	8	8	9	30	86
	5	6	0	0	3	10	13	11	0	0	0	0	0	43
	利用延べ人数	547	519	516	547	556	580	629	584	569	507	499	581	6,634
	平均介護度	2.05	2.03	2.04	2.07	2.03	2.05	2.04	2.04	1.95	1.91	1.93	2.03	2.01
	平均利用人数/1日	21.0	20.0	19.8	20.3	21.4	22.3	23.3	23.4	21.9	20.3	20.8	21.5	21.3
要支援	利用実人数	17	17	15	14	14	14	14	13	13	12	11	12	138
	1	21	18	17	19	15	18	16	10	15	11	9	17	168
	2	93	97	84	79	71	78	82	77	76	62	55	63	917
	利用延べ人数	114	115	101	98	86	78	98	87	91	73	64	80	1,085
	平均利用人数/1日	4.4	4.4	3.9	3.6	3.3	3.0	3.6	3.5	3.5	2.9	2.7	3.0	3.77
総計	利用延べ人数	661	634	617	645	642	658	727	671	660	660	563	661	7,799
	平均利用人数/1日	25.4	24.4	23.7	23.9	24.7	25.3	26.9	26.8	25.4	26.4	23.5	24.5	25.1
	稼働率	72.6%	69.7%	67.8%	68.3%	70.5%	72.3%	76.9%	76.7%	72.5%	75.4%	67.0%	69.9%	71.6%

ホームヘルプサービス「(介護予防)訪問介護」

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
要介護	利用実人数	11	12	15	15	17	17	18	16	17	20	18	20	163
	利用延べ訪問件数	253	271	255	266	297	310	265	241	255	261	250	284	3,208
	平均介護度	2.4	2.4	2.4	2.6	2.4	2.3	2.6	2.7	2.7	2.8	2.7	2.8	2.6
/総合 要支援	利用実人数	9	9	8	8	8	9	0	8	9	6	7	7	73
	利用延べ件数	9	9	8	8	8	7	8	8	9	6	7	7	94
障害	実人数	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3
	訪問回数	13	17	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46
総計	実人数	21	22	24	23	25	26	18	24	26	26	25	27	239
移動 支援	実人数	1	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0.5
	移動支援延べ件数	1	1	2	0	1	1	1	0	0	0	0	0	7
保険 外	実人数	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	0	0	0.5
	延件数	-	-	-	-	-	-	-	-	13	8	0	0	21

居宅介護支援

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
介護支援専門員数	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3.7	
要介護	1	35	34	34	39	34	32	34	33	31	30	28	30	394
	2	26	27	27	27	28	27	28	28	30	31	29	29	337
	3	26	25	24	24	25	26	29	30	30	28	30	29	326
	4	5	4	4	5	4	2	4	5	4	6	6	5	54
	5	1	1	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	25
	介護 利用人数	93	91	92	98	94	89	97	98	97	97	95	95	94.7
	介護 稼働率	88.6%	86.7%	87.6%	93.3%	89.5%	84.8%	92.4%	93.3%	92.4%	92.4%	90.5%	90.5%	90.2%
要支援	1	9	8	8	9	7	7	7	8	7	8	8	8	94
	2	17	15	13	11	13	15	15	15	15	10	10	8	157
	予防 利用人数	26	23	21	20	20	22	22	23	22	18	18	16	20.9
	予防 稼働率	108.3%	95.8%	87.5%	83.3%	83.3%	91.7%	91.7%	95.8%	91.7%	75.0%	75.0%	66.7%	87.15%
総計	介護+予防 利用人数	119	114	113	118	114	111	119	121	119	115	113	111	115.6
	介護+予防 稼働率	92.2%	88.4%	87.6%	91.5%	88.4%	86.0%	92.2%	93.8%	92.2%	89.1%	87.6%	86.0%	89.60%

2020年度(令和2年度)
ガリラヤ久米 事業報告

[事業の種類]

I. 小規模特別養護老人ホーム(地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)	定員 29名
II. ショートステイ(〔介護予防〕短期入所生活介護)	定員 10名
III. グループホーム(〔介護予防〕認知症対応型共同生活介護)	定員 18名
IV. 介護付有料老人ホーム(〔介護予防〕特定施設入居者生活介護)	定員 35名(30室)
V. デイサービス(地域密着型通所介護)	定員 18名
VI. デイサービス(介護予防通所サービス)	
VII. 居宅介護支援事業所(居宅介護支援)	

1.ガリラヤ久米(全体)

取組事項	取組内容
命と尊厳を守り安心して生活できる施設づくり	<p>① 専門職として基礎介護力を高め、多職種連携による、重度化ケアに対応した生活支援の提供を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 内部研修(基礎介護研修)開催 [全2回] ※コロナウイルス感染予防のため3回目以降は開催中止 ■ 運営会議の開催 [全12回 ※毎月] ■ 朝礼(全体)の開催 [月～金] <p>② 利用者の人権、プライバシーの保護と共に、虐待防止・身体拘束廃止を徹底する。(身体拘束0件目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 身体拘束・虐待防止委員会開催 [全12回 ※毎月] ■ 内部研修(拘束虐待防止)開催 [全2回] <p>③ インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症拡大防止に努める。(集団発生0件目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 衛生管理委員会開催 [全12回 ※毎月] ■ 内部研修(感染症)開催 [全2回]
地域福祉の確立	<p>① 地域での福祉拠点を目指し、関係機関と連携・地域の福祉ニーズを捉えた取り組みを実現する。(サロン活動、出前講座)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域包括支援センターとの連携[各種会議・研修参加] ■ サロン活動等はコロナウイルス感染予防のために未実施 <p>② 地域行事活動、防災・防犯活動の協力等、学校、保育、他関係機関との連携を継続する。また、各養成校実習受入を開始し計画的に実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 河原医療大学校(看護臨地実習) ※その他の実習はコロナウイルス感染予防のため中止 <p>③ 在宅生活をトータル的にサポートするため、地域の実情に合わせた活動の実現に向けた情報収集、広報活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域の情報収集及び広報活動はコロナウイルス感染予防のために未実施
広報活動の充実	<p>① ホームページ・SNS を活用し施設の様子など積極的な情報発信を行い、また施設広報誌を年4回企画・配布する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ SNS(インスタグラム・Facebook)にて定期的な情報発信 ■ 施設広報誌は未発刊

	<p>② イベントの企画・運営、ボランティア活動や関係機関の見学等の受入を継続する。また利用者家族・地域の方々が参加できる企画を検討する。</p> <p>■ コロナウイルス感染予防のためイベントの開催中止</p>
やりがいを感じ働きやすい職場づくり	<p>① ガリヤ久米スタッフ心得を常に意識した接遇に努め、運営理念に基づいたスタッフ教育を行う。</p> <p>② 福祉の専門職として各事業所・部署間のチームワーク体制を維持し、運営に関する課題改善をより効果的に実践できる環境に努める。</p> <p>③ スタッフが成長できる内部研修の実施、及び外部研修への参加支援を継続する。</p> <p>■ 内部研修の開催 [全 23 回] ※外部研修はコロナウイルス感染予防のため参加見合わせ</p> <p>■ ストレスチェックの実施(8月)NPO ころも塾との従業員支援事業委託の締結</p> <p>■ 人事考課・面談の実施(6月 11月)</p>
安定運営の確保	<p>① 事業所の年間目標数値の達成とコスト(ムリ・ムラ・ムダのない)管理。</p> <p>② 制度改正、社会状況に合わせた施設運営を見据え、ICT の活用、介護機器(ロボット等)の導入に対する準備を検討継続する。</p> <p>③ 事業運営に関わる財務・組織・管理における課題改善を適切に実践する。</p> <p>■ 運営会議での実績確認及び検討 [全 12 回]</p> <p>■ 部課長会議[全 38 回]での検討</p>

2. I .小規模特別養護老人ホーム(地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

2.-1 入所者の状況(令和3年3月31日現在)

【入所・退所状況】

待機者数(令和3年3月末現在 28名)

入 所			退 所		
男	女	計	男	女	計
2	10	12	2	11	13

【年齢構成】

	男	女	全体
入所者数	6	22	28
平均年齢	90.2	88.5	88.8
最高齢	94	103	-
最年少	83	70	-

【要介護度別人数】

要介護度	男	女	計
1	0	0	0
2	0	0	0
3	1	3	4
4	1	7	8
5	4	12	16
平均	4.8	4.3	28

2-2 医療の状況

【入院状況】

	実人数	延日数
4月	2	19
5月	2	45
6月	1	17
7月	1	10
8月	2	9
9月	4	34
10月	4	43

	実人数	延日数
11月	4	41
12月	4	45
1月	4	55
2月	3	23
3月	4	84
合計	35	425
月平均	2.9	35.4

【入院疾患別人数(延人数)】

疾患名	今年度	前年度
肺炎	7	13
心疾患	2	0
脳梗塞	1	1
尿路感染	1	1
腸閉塞	2	2
骨折	3	1
食欲不振	1	0
肝機能低下	0	0
腎機能低下	0	0
その他	2	0
合計	19	18

【医療管理状況】

医療行為	今年度	前年度
胃ろう	3	3
在宅酸素療法	0	0
人工肛門	0	0
尿道留置カテーテル	2	1
インシュリン注射	0	0
痰の吸引(常時)	0	0
合計	5	4

※緊急搬送回数 1回 (前年度 0回)

2-3 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
トータルケアの実践 多職種協働システム	<p>《全部門》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 「総合記録シート」「介護日誌」「ユニット会議議題書」を活用したケアの実践。 ■ 多職種協同による「状態確認(ダブルチェック)」と「ケアの方法検討(カンファレンス)」の実践 ■ シフトマニュアル(オペレーションシート)の活用。平常時の統一した業務内容の明確化を図り、入所者及びユニットの状況変化に応じた体制づくり。 ■ ケアスタッフと看護師との連携による重度化対応。
イベント企画	<p>《全部門》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ イベント開催 4月(散歩(桜))(お花見弁当) 5月(若葉昼食会)(散歩(龍神社))(おやつ作り(プリン)) 6月(映画鑑賞会)(風船バレー大会)(おやつ作り) 7月(七夕づくり) 8月(夏祭り)(すいか割り) 9月(芋炊き)(ボーリング大会)(おやつ作り) 10月(お月見だんごづくり)(ミニ運動会)(おやつ作り)(散歩(龍神社)) 11月(ボーリング大会)(クリスマス飾りづくり)(おやつ作り) 12

	月(クリスマス会)(忘年会) 1月(新年会)(お正月行事)(おやつ作り) 2月(バレンタインチョコタワー)(節分豆まき)(おやつ作り) 3月(ひなまつり)(どら焼き作り)
環境整備	≪全部門≫ ■ 居室担当制・備品整備・環境美化推進
研修運営	≪全部門≫ ■ 年間計画に基づく各種研修の開催 6月(食中毒、書面開催)7月(身体拘束・虐待防止、書面開催)10月(看取り、書面開催)11月(特浴リフト研修)1月(感染症予防、ビデオ)2月(リスクマネジメント、書面開催) ■ 基礎介護勉強会の開催 ■ 9月(中途者、食事ケア・排泄ケア・認知症ケア)

2.-4 運営推進会議の状況 ※)書面開催

開催日等	内容
第1回 令和2年4月～令和2年5月報告 意見照会 6名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等
第2回 令和2年6月～令和2年7月報告 意見照会 8名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等
第3回 令和2年8月～令和2年9月報告 意見照会 7名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等
第4回 令和2年10月～令和2年11月報告 意見照会 7名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等
第5回 令和2年12月～令和3年1月報告 意見照会 6名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等
第6回 令和3年2月～令和3年3月報告 意見照会 6名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等

≪総評≫

目標稼働率 96.6%に対し 95.6%。総延べ入院(外泊)日数 425日 平均要介護度 4.42

重度対応可能な施設として、年々平均要介護度が上がっており、外泊数も前年度より増加する結果となった。今後は、より一層の医療連携や多職種連携による細やかなケアが求められており、オンラインでの研修や勉強会等も活用しつつ、穏やかな暮らしの提供を目指していきたい。

また、感染症対策を実施する中で、ご家族の方等と会えないなど、以前より制限のある暮らしとなっており、感染症対策を行いつつも、少しでも楽しみをもって生活していただけるようなアクティビティやイベントの企画に努めた。

今後も引き続き、感染症対策を実施し、感染症の予防に努めるとともに新しい形での生きがいのある生活を提供できるようなケアを目指していきたい。

3. II. ショートステイ（〔介護予防〕短期入所生活介護）

3-1 利用状況（令和3年3月31日現在）

【利用状況】

延べ人数	男	女	計
予防短期通所	34	6	40
短期通所	753	2155	2908
合計	787	2161	2948
平均利用者数	2.2	5.9	8.1

実人数	男	女	計
石井・浮穴・久谷	0	6	6
小野・久米	5	16	21
桑原・道後	0	3	3
生石・味生	0	0	0
味酒・清水	0	0	0
雄郡・新玉	0	1	1
垣生・余土	0	0	0
東・拓南	2	3	5
三津浜	0	1	1
内子	0	0	0
東温市	1	1	2
久万高原町	1	0	1
松前町	0	0	0
砥部町	1	0	1
合計	10	31	41

【要介護度別延べ人数】

要介護度	男	女	計
要支援1	34	6	40
要支援2	0	0	0
要介護1	480	669	1149
2	162	650	812
3	84	1174	1258
4	374	3839	4213
5	1677	3914	5591
平均	3.9	3.9	3.9

《総評》

目標稼働率 80.0%に対し 80.8%。一日の平均利用者 8.1 名

新型コロナウイルス感染症の発生状況を確認しつつ、ご家族、ケアマネジャーと連携し、感染症対策を実施の上、安心してサー

ピスを利用していただけるよう努めた。結果、感染症の発生等なく事業を継続することができた。しかし、コロナウイルスの状況により、利用キャンセルや利用控えみられた。

利用中のアクティビティやイベントについては、感染症対策を意識して、新しい形を模索した。結果、大がかりな外出などはできなくなった代わりに、施設内での脳トレ等の定着や多様なイベントを実施することができた。

4.Ⅲ.グループホーム〔介護予防〕認知症対応型共同生活介護

4.-1 入居者の状況(令和3年3月31日現在)

【入居・退居状況】

待機者数(令和3年3月末現在 15名)

入 所			退 所		
男	女	計	男	女	計
0	3	3	1	2	3

【年齢構成】

	男	女	全体
入居者数	4	14	18
平均年齢	84.5	89.9	88.7
最高齢	90	99	99
最年少	74	70	70

【要介護度別人数】

要介護度	男	女	計
1	0	2	2
2	1	4	5
3	1	7	8
4	0	1	1
5	2	0	2
平均	3.75	2.5	2.78

4.-2 医療の状況

【入院状況】

	実人数	延日数		実人数	延日数
4月	2	29	11月	1	2
5月	1	12	12月	0	0
6月	3	52	1月	0	0
7月	4	54	2月	0	0
8月	3	55	3月	1	7
9月	1	30	合計	17	245
10月	1	4	月平均	1.4	20.4

【入院疾患別人数(延人数)】

疾患名	今年度	前年度
肺炎	2	7
心疾患	0	1
脳梗塞	0	2
腎機能低下	0	0
骨折	0	2
その他	7	9
合計	9	21

※緊急搬送回数 0回 (前年度 0回)

4.-3 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
トータルケアの実践 多職種協働システム	《全部門》 <ul style="list-style-type: none"> ■ 「総合記録シート」「介護日誌」「ユニット会議議題書」を活用したケアの実践。 ■ シフトマニュアル(オペレーションシート)の作成。平常時の統一した業務内容の明確化を図り、入所者及びユニットの状況変化に応じた体制づくり。 ■ ケアスタッフと看護師との連携による重度化対応。
イベント企画	《全部門》 <ul style="list-style-type: none"> ■ イベント開催 4月(花見散歩) 5月(芋の苗植え、こいのぼりづくり) 8月(夏祭り) 9月(敬老会) 10月(運動会) 11月(焼き芋作り) 12月(干し柿作り、忘年会、クリスマス会) 1月(初詣散歩、新年茶会) 2月(豆まき、バレンタイン) 3月(ひなまつり、おはぎづくり)
環境整備	《全部門》 <ul style="list-style-type: none"> ■ 居室担当制・備品整備・環境美化推進
研修運営	《全部門》 <ul style="list-style-type: none"> ■ 年間計画に基づく各種研修の開催 4月(新人研修)6月(食中毒、書面開催)7月(身体拘束・虐待防止、書面開催)10月(看取り、書面開催)11月(特浴リフト研修)1月(感染症予防、ビデオ)2月(リスクマネジメント、書面開催) ■ 基礎介護勉強会の開催 ■ 9月(中途者、食事ケア・排泄ケア・認知症ケア)

4.-4 運営推進会議の状況 ※)書面開催

開催日等	内容
第1回 令和2年4月～令和2年5月報告 意見照会 6名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等
第2回 令和2年6月～令和2年7月報告 意見照会 8名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等

第3回 令和2年8月～令和2年9月報告 意見照会 7名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等
第4回 令和2年10月～令和2年11月報告 意見照会 7名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等
第5回 令和2年12月～令和3年1月報告 意見照会 6名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等
第6回 令和3年2月～令和3年3月報告 意見照会 6名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等

《総評》

目標稼働率 96.1%に対し 96.1%。総延べ入院(外泊)日数 245 日。

開設後4年目となるが、事業所スタッフの退職者が一人も出ていないことで、業務面では安定して行えている。昨年と同様に、基本的なケアを丁寧に実践することを意識し、効果的な多職種連携のケアを目指してきた。

入所者の状況については、平均要介護度 2.78((R3.3.31)と、重度化がすすんできており、本年度は看取りケアを2名実施した。今後も、重度化対応や看取りについて、適切な対応ができるようスタッフの知識・技術の向上に努めていきたい。平均年齢は 88.7 歳と高齢であり、健康管理と丁寧なケアの実践を通して、重度化予防に努めてきた。新型コロナウイルス感染症の発生状況を確認しつつ、感染症対策を実施の上、安心して利用していただけるよう努めた。結果、その他の感染症も含め発生を予防でき安心した生活支援を行うことができた。

イベントについては、新型コロナウイルス感染予防対策の中、新しい形を模索し行った。大規模なイベントや外出は控え、施設内でのイベントや、事業所付近の散歩等を実施した。新型コロナウイルス感染症の状況を確認しながら、個別支援の充実や、家族の協力も得られる働きかけに工夫し、その人らしい暮らしの提供を目指したい。

5.IV.介護付有料老人ホーム((介護予防)特定施設入居者生活介護)

5.-1 入居者の状況(令和3年3月31日現在)

【入居・退居状況】 待機者数(令和3年3月31日現在 単身 21名 夫婦 4組 計 29名)

出身地 保険者	保険者別入居者数			令和2年度中の移動状況					
				入居			退居		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
松山市	4	14	18	1	6	7	3	4	7
東温市	2	5	7	2	1	3	0	1	1
砥部町	1	2	3	1	1	2	0	0	0
伊予市	0	1	1	0	0	0	0	0	0
西条市	2	0	2	0	0	0	0	1	1
新居浜市	1	0	1	0	0	0	0	0	0
宇和島市	0	1	1	0	0	0	0	0	0
松前町	0	0	0	0	0	0	1	0	0

福津市	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	10	23	33	4	8	12	4	6	9

【年齢構成】

	男	女	全体
入所者数	10	23	33
平均年齢	91.8	89.5	90.2
最高齢	99	99	99
最年少	86	83	83

【要介護度別人数】

要介護度	男	女	計
自立	0	0	0
要支援 1	1	1	2
要支援 2	1	5	6
要介護 1	4	6	10
2	1	4	5
3	0	2	2
4	2	4	6
5	1	1	2
平均	1.98	1.88	1.91

5.-2 医療の状況

【入院状況】

	実人数	延日数
4月	1	13
5月	0	0
6月	1	21
7月	4	46
8月	3	31
9月	2	4
10月	3	68

	実人数	延日数
11月	6	84
12月	7	72
1月	4	74
2月	2	56
3月	5	61
合計	38	530
月平均	3.16	44.1

【入院疾患別人数(延人数)】

疾患名	今年度	前年度
肺炎	8	1
心疾患	3	2
尿路感染	2	1
骨折	2	1
貧血	0	1
脳出血	0	0
その他(嚥含)	10	8
合計	25	14

緊急搬送回数 1回 (前年度 0回)

【医療管理状況】

医療行為	今年度	前年度
胃ろう	0	0
在宅酸素療法	1	2
人工肛門	1	1
尿道留置カテーテル	1	1
インスリン注射	1	1
痰の吸引(常時)	0	0
合計	4	5

5.-3 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
トータルケアの実践 多職種協働システム	<p>《全部門》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 食事・排泄・口腔のケアに重点をおき、丁寧なケアに努め、誤嚥性肺炎、尿路感染症予防を行った。 ■ BPSD の悪化につながる、身体の問題を見極めながら根拠あるケアを実践した。
イベント企画	<p>《全部門》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ イベント開催 4月(お花見弁当) 5月(おやつ作り) 6月(おやつ作り) 7月(スイカ割り)(歌謡ショー) 8月(夏祭り) 9月(敬老会) 10月(芋炊き)(ミニ運動会) 11月(おやつ作り) 12月(忘年会)(クリスマス会) 1月(初詣)(新年会) 2月(節分:豆まき)(おやつ作り) 3月(ひな祭り) ※新型コロナ感染拡大予防のため、外出行事は中止 ■ 散歩(毎日)、誕生会・散歩表彰式(毎月)、カラオケ(毎月) ■ ボランティア受入(新型コロナ感染拡大予防のため中止)
環境整備	<p>《全部門》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 居室担当制・備品整備 ■ 大掃除(エアコン・窓)6・12月 ■ 各箇所の消毒、換気
研修運営	<p>《全部門》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 年間計画に基づく各種研修の開催 4月(新人研修)6月(食中毒、書面開催)7月(身体拘束・虐待防止、書面開催)10月(看取り、書面開催)11月(特浴リフト研修)1月(感染症予防、ビデオ)2月(リスクマネジメント、書面開催) ■ 基礎介護勉強会の開催 9月(中途者、食事ケア・排泄ケア・認知症ケア)

《総評》

R2 目標稼働率 91.4%に対し実績 86.2% 総延入院日数 530日(外泊は除く) 平均要介護度 1.91(R3.3.31)

入居者の高齢化及び重度化に伴い、看取りや重度の方の対応、介護度が軽度の方の精神面のフォローなど介護職、看護師は多様な技術や知識、観察力、コミュニケーション能力を求められるような状況となっている。

今後も健康管理と丁寧なケアを行い多職種が連携することで、日々の変化を早期発見できるように努めていきたい。

新型コロナウイルスの影響もあり面会や外出行事の見合わせが続いているが、施設内でも生活の中に生きがいや季節を感じていただけるように企画し、入居者、ご家族にも安心していただけるようなケアを今後も目指していきたい。

6. V. デイサービス(地域密着型通所介護)

VI. デイサービス(介護予防通所サービス)

6-1 利用者の状況(令和3年3月31日現在)

【利用状況】稼働日数 309日

延べ人数	男	女	計
地域密着通所	627	1744	2401
介護予防通所	193	818	1011
	541	2782	3323
平均利用者数	2.7	8.4	11.0

登録者人数	男	女	計
石井・久谷	2	8(10)	11(13)
小野・久米	10(12)	19(24)	29(37)
桑原・道後	0	2	2
城西勝山	0	1	1
東拓南	0	2	3
合計	16	40	56

※)()…中止者を含む

【要介護度別延べ人数】

要介護度	男	女	計
事業対象	0	0	0
要支援1	60	358	418
要支援2	133	446	577
要介護1	239	1343	1584
2	218	234	452
3	1334	0	1334
4	36	197	233
5	0	0	0
平均	1.3	1.5	1.4

6-2 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
個別ケアの実施	①生活機能や心身機能を把握し低下をもたらす環境や要因の特定及び環境分析を行いながら個別ケアを図る。 ■体力測定を実施し、結果の報告(家族及びケアマネジャー)

	<ul style="list-style-type: none"> ■体力測定結果や起居動作の状況に合わせた、マシントレーニングの見直し ②HOL (happiness of life) の提供を目指して、レクリエーション等アクティビティの充実を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ■参加型レクリエーション ③7つの基本動作を踏まえた上でのマシントレーニング、レッドコードを含む個別機能訓練を充実させる。 <ul style="list-style-type: none"> ■利用者の状態・状況に合わせたマシントレーニング等のメニューの設定 ■トレーニング成果の報告(見える化)による継続の働きかけ
地域との交流	<ul style="list-style-type: none"> ①地域と連携し、地域包括ケアの促進を目指す。 <ul style="list-style-type: none"> ■地域連絡会への参加 ②積極的にボランティアを受入れ、地域(保育園・学校等)の方も参加しやすいイベントを実施し交流の機会を増やす。 ③地域との交流を行い、地域の行事等へ積極的に参加する。 <ul style="list-style-type: none"> ■久米中学校職場体験受入れ。どれみ保育園園児との交流活動の実施 ■秋祭り(神輿・獅子舞)施設訪問参加
職員研修	<ul style="list-style-type: none"> ①地域等の研修への参加、及び事業所内での勉強会の充実を図る。 ②施設内・外研修に参加し、基礎介護とサービスの質の向上を目指す。 <ul style="list-style-type: none"> ■市主催の説明会への参加 ■年間計画に基づく各種研修の開催 4月(新人研修)5月(リスクマネジメント)6月(食中毒)(接遇)(法令順守)7月(メンタルヘルス)8月(排泄ケア)(身体拘束)(排泄)9月(交通安全)(口腔ケア)10月(移乗)11月(ストレスチェックフォローアップ)(感染症)12月(入浴)(法令順守)(接遇)1月(リスクマネジメント)2月(看取り)中止3月(身体拘束)
安定運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> ①長期入院や他サービスとの併用による利用率の状況を把握し、介護支援専門員と連携をとりながら調整を行う。 ②新規登録者の安定獲得を目指すため、定期的なチラシを作成し、積極的な営業に努める。。 ③安定した運営のために、管理及びコスト意識を持つ。

6-3 運営推進会議の状況

開催日等	内容
第1回 令和2年4月～令和2年9月報告 意見照会 7名	<ul style="list-style-type: none"> ① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等
第2回 令和3年2月～令和3年3月報告 意見照会 6名	

6-4 その他の状況

内容		備考
苦情解決件数	0件	
事故報告件数	8件	転倒 3件 介助ミス 2件 バイタル確認ミス 1件 体調不良により緊急搬送 2件
ヒヤリハット件数	1件	

《総評》

新規利用者獲得、また利用継続のため各事業所への定期的な情報発信、情報共有を積極的に行い、利用体験者及び新規利用者の獲得に取り組んだ。また、新規利用開始後は、利用者の運動機能を把握するために、体力測定を定期的実施し、意欲向上につながる工夫や、継続してトレーニングできる環境づくりに努めた。

昨年より、新型コロナウイルスの感染予防を理由にデイサービスを一時的に休まれる利用者が少なくない状況であるが、お休みをされている利用者にも定期的にフォローを実施し、利用再開に向けた取り組みを継続して実施し、閉じこもり予防、ADL 低下予防に努めた。安心して利用して頂けるよう、新型コロナウイルス感染予防対策の情報発信や、安心安全な環境の提供に継続して取り組んでいきたい。

今後も、利用者の楽しめるサービス、元気につながるサービスの提供に努め、住み慣れた地域で安心して生活を続けていけるようサービスを充実していきたい。

7. VII.居宅介護支援事業所(居宅介護支援)

7.-1 利用者の状況(令和3年3月31日現在)

【利用状況】 居宅サービス担当月間人数 予防 18 件 介護 45 件

利用者	予防		介護	
	男	女	男	女
小野・久米	3	6	5	23
石井・浮穴・久谷	0	2	1	2
桑原・道後	0	1	0	2
東・拓南	0	0	0	2
雄郡・新玉	0	1	0	0
味酒・清水	0	1	0	0
生石・味生	0	1	0	0
三津浜	0	0	0	1
垣生	0	0	0	1
東温市	0	3	1	5
伊予市	0	0	0	1
西条市	0	0	0	0
新居浜市	0	0	0	0
松前町	0	0	0	1
久万高原町	0	0	0	0
計	3	15	7	33
	18		45	

【要介護度別利用人数】

要介護度	男	女	計
要支援 1	1	6	7
要支援 2	2	9	11
要介護 1	4	24	28

2	2	5	7
3	0	5	5
4	1	4	5
5	0	0	0
計	10	53	63

7-2 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容の振り返り
在宅生活の維持	<p>① 要介護 1 程度の軽度な方の施設入所が多いように思われる。要望に応じ施設紹介等の支援を行った。介護者の支援があまり得られない場合は軽度であっても家族の希望等で施設入所となる。</p> <p>② 地域での認知症の方の見守りをと言われるが実際は難しい現状がある。</p> <p>③ 地域包括支援センター等が主催する勉強会等、コロナウイルス予防の影響で活動が少なかった。社会資源の理解が不十分でありプランへの反映ができていない。</p>
資質向上	<p>① 事業所内・外の研修に参加し、基礎介護やマネジメント等の在宅生活に必要な知識向上を目指すことができたが、より文章能力や専門性、医療知識の理解など不十分な点を向上させたい。</p> <p>② 地域資源やサービス事業所の情報収集をもつとする必要がある。中立・公正な視点になった選択提起がよりできるよう視野を広げていきたい。</p>
地域活動への参加	<p>① コロナウイルス予防の観点から勉強会や研修会等の開催が少なかったが、リモート会議への参加や、ケア会議への事例提供など積極的に参加できた。</p> <p>② 地域サロンの活動の支援・交流など、コロナウイルス予防による停止が相次ぎ、屋外での民生委員との交流のみにとどまった。</p>
安定運営の確保	<p>① 病院への営業ができなかった。包括支援センター小野・久米からは定期的に紹介などが得られた。担当している方からの口コミ紹介など、少しずつガリラヤ久米の認知度が上がっていると感じる。</p> <p>② 在宅生活が継続できるよう自立支援及び、ファミリーケアに努め、介護保険以外のサービスの提供などの理解を深める必要がある。</p>

7-3 その他の状況

内容		備考
苦情解決件数	0 件	
事故報告件数	0 件	

《総評》

目標人数 70 名としたが、63 名の利用にとどまった。前年より、10 名増である。要支援 1～要介護 2 が全体の 84% を占めており、中でも要介護 1 が全体の 44% となっている。研修では地域で支援と言われるが実際は、サービス付き高齢者住宅の増加やグループホームの利用など、軽度の方の入所が増えている現状を感じる。自立支援の観点を持ち本人・家族が望む生活を考え、より良い暮らしとは何かをこれからも探求していきたい。重度であっても自宅で生活が可能になるよう、認知症があっても穏やかに暮らせる手立て等、より個別性を高める技術が必要であると考えている。地域資源の理解と活用、ケアプランの中に地域資源を入れ、日常の活動に介護保険以外の生活全般の暮らしを網羅することを指導されている。法改正でも、中立・公正や事業所選定や医療連携をより密にするよう複雑化しているように感じる。ガリラヤ久米の居宅介護支援事業所として知名度を高め、個別ケアの充実を図っていきたいと考える。

8.各部門報告(委員会活動を含む)

8.-1 防災・防犯活動

訓練項目	開催日時	参加者	内容
防災勉強会	令和2年7月16日 15:00～16:00 の内の 15分間	運営会議メンバー	7月九州で豪雨により球磨川が氾濫し特養の入所者14名の命が奪われる災害があった。そのため、当施設でも再度防災(風水害)に対する意識を高めるため勉強会を開催した。
消防訓練 (通報・初期消 火・避難)	令和2年9月17日 10:00～10:40	職員	例年であれば、消防職員の派遣をお願いし職員・利用者全員参加での避難訓練を開催しているが、今年はコロナ感染防止のため訓練内容を縮小、消防職員の派遣、利用者の参加もなく職員のみを対象とした訓練を行った。
総合訓練 (シェイクアウトえ ひめに参加) 地震・水害訓練	令和2年12月17日 11:00～11:30	利用者、職員	シェイクアウトえひめに参加、在館者が一斉に安全確保行動「まず低く、頭を守り、動かないを1分間」をとった。 豪雨で施設に床上浸水が発生したと想定し、避難誘導と物資の移動訓練を行った。
夜間通報訓練 夜間火災	令和2年12月17日 20:00～20:30	職員	夜間火災想定での通報及び非常招集訓練を実施した。

8.-2 感染症対策

① 衛生管理委員会の開催(毎月)

② 職員研修の実施

○感染症について

実施月	内容	参加者	研修内容	備考
6月	食中毒	76名	食中毒の基礎知識・予防対策について	書面開催
8月	第一回防護服 着脱訓練	5名	新型コロナウイルス感染症対策防護具使用手順 の確認・訓練	実施訓練
8月	第二回防護服 着脱訓練	13名	新型コロナウイルス感染症対策防護具使用手順 の確認・訓練	実施訓練
9月	新型コロナウイルス感染症 対策研修	12名	新型コロナウイルス感染症について	
10月	新型コロナウイルス感染者 発生想定訓練	17名	新型コロナウイルス感染症発生時の初動対応の確認、ゾーニングの確認等	実施訓練
11月	新型コロナウイルス感染症 勉強会	10名	新型コロナウイルス感染症について	オンライン
12月	新型コロナウイルス感染症 勉強会	11名	新型コロナウイルス感染症について	オンライン
1月	新型コロナウイルス感染症 勉強会	11名	新型コロナウイルス感染症について	オンライン

2月	感染症対策勉強会	70名	感染症の基礎知識と対策※新型コロナウイルス感染症を含む	動画研修
----	----------	-----	-----------------------------	------

○メンタルヘルスについて

実施月	内容	参加者	内容	備考
8月	ストレスチェック	75名	全職員に対してストレスチェックを実施	
12月	ストレスチェック研修	2名	集団分析結果の活用について	オンライン
2月	ストレスアンケート	79名	全職員に対してストレスアンケートを実施	

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、委員会メンバー全体による定期の会議は開催できず、各事業所のユニット会にて会議を実施した。感染症の動向や対策については、朝礼や「スタッフの皆さんへのお願い」「新型コロナウイルス感染症緊急対策本部からのお知らせ」、毎月の衛生管理委員会会議文書の配布や回覧、各ユニットでの会議にて周知を図り、情報共有を行った。また、オンライン研修も含め、感染症の研修を実施した。全職員を対象とした感染症勉強会については、例年とは違う動画視聴研修とし、それぞれの職員の感染症対策に対する理解を深めることができた。

メンタルヘルスについては、感染予防のため、昨年実施したような施設全体での外部講師による職員研修や交流研修は実施できない状況であった。職員対象のストレスチェックやアンケートにおいては、全体的にストレスが増大していた。長引くコロナウイルス感染症対策により、プライベートにおいても自粛が続き、施設職員としての責任と役割は理解しているが、感染の先行きが見えないことへの不安がストレスになっているようであった。

③ 感染症報告

<インフルエンザ>

11月3日より利用者、11月24日より施設職員に対する予防接種を開始し、ほぼ100%実施できた。インフルエンザについては、コロナウイルス感染症対策により、全国的に罹患率は低く、施設内での感染は認めなかった。

	利用者					職員				
	GH	特養	SS	有料	他	GH	特養	SS	有料	他
A型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※GH(グループホーム) SS(短期入所)

<その他>

ノロウイルスなど、施設内での他の感染症の発症は認めなかった。

<まとめ>

今年度も新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大がみられ、当施設においても、国・県内の感染状況を確認しながら、対応を検討し、感染対策を継続している。感染拡大に伴い、変異ウイルス感染者も急増し、近隣の施設でもクラスターが発生しており、今後も徹底した感染回避行動への取り組みが必要と考える。各職員が日々のストレスと上手く向き合い、モチベーションを維持しながら、心身ともに健康に業務に携わることができるような職場環境作りを行い、随時情報を共有し、感染予防対策を確実に継続できるように努めていきたい。

8.-3 褥瘡対策

① 褥瘡対策委員会の開催(毎月)

毎月入居者の褥瘡発生予備軍を抽出し対応を検討している。

表皮剥離などステージが軽い時期に早期の対応を行うことで、重症化することなく治癒できている。また、個人の肌質にあった保湿に努めながら、症状改善に至らない場合は皮膚科への相談、受診を行っている。

8.-4 権利擁護・苦情解決

① 権利擁護苦情相談委員会の開催(書面開催)※ガリラヤ荘合同

令和元年度苦情件数 0件

※意見箱(玄関) 0件

8.-5 身体拘束・高齢者虐待対策

① 身体拘束廃止・高齢者虐待防止委員会の開催(毎月)

身体拘束件数 0件 高齢者虐待件数 0件

毎月チェックリストを用いて、日常のケアの中において、不適切ケアや行動を制限する目的で実施された行為がないかを確認した。また、事業所毎の会議にて、委員会を開催や年 2 回の研修(書面開催)にて、身体拘束適正化、高齢者虐待防止の意識づけを行った。施設全体での委員会は中止となり、全体での事例検討の共有ができなかったため、次年度の委員会の開催方法を検討したい。

8.-6 栄養対策

① 給食委員会の開催(書面開催)

残食調査を毎食実施し、残食の多い献立は提供頻度を減らしたり、食べやすいように調理法を工夫したりして、残食の減量に努めた。結果、約 9%減少させることができた。

今後も継続して調査を実施し、利用者により一層満足していただける食事提供に努めたい。

8.-7 事故対策

① 安全委員会の開催(毎月)

委員会内においてヒヤリハットや事故の事例検討を行いながら、ケア方法の見直しや環境整備の配慮に努めた。入所・入居者の状態・状況が事業所によって異なる中、それぞれにおいて重点的に注意すべきことに変化があり、今後も事例検討を重ねながら、重大事故を未然に防げるように努めたい。

各事業所で作成したポスターをコピーし、各事業所に配布し張り出す予定。この活動も、事故を未然に防ぐことにつながってほしい。

② 事故・ヒヤリハット報告

今年度について、それぞれの集計結果を報告する。

なお、事故報告は、ヒヤリハットを除く全ての事故報告を集計している。

I 月別発生件数(事業所別)

月	グループホーム	小規模特養	短期入所	介護付有料	計
4月	9	14	2	8	33
5月	8	17	5	13	43
6月	12	24	4	18	58

7月	6	23	3	12	44
8月	7	11	3	12	33
9月	9	31	3	17	60
10月	9	14	3	11	37
11月	6	11	5	16	38
12月	4	17	7	8	36
1月	10	18	3	11	42
2月	11	19	4	18	52
3月	5	20	3	10	38
総計	96	219	45	154	514

II 内容別発生件数

	件数
内出血	169
転倒※1)	99
服薬ミス	65
他※3)	47
転落※2)	37
傷	43
表皮剥離	42
異食	6
食事提供ミス	3
誤嚥	2
骨折	1
総計	514

※1) 立上りや歩行での転倒

※2) 車椅子、椅子、ベッドなどからのしりもち、座り込みを含む

※3) 原因が特定されない軽症や事故危険があったものを含む

III 報告レベルの内訳

I	未遂以外の事故(怪我なし) バイタル異常・看護師の処置	495
II	病院受診(異常なし)	8
III	病院受診(怪我あり)(再受診必要)	8
IV	病院受診(入院加療が必要)	3
V	後遺症が残るあるいは死亡	0
総計		514

「ヒヤリハット件数」

	件数
転倒（未遂）	74
転落（未遂）	85
服薬ミス（未遂）	9
食事提供ミス（未遂）	0
異食（未遂）	7
在宅酸素ミス（未遂）	1
対人トラブル（未遂）	0
誤嚥（未遂）	0
胃チューブ抜去（未遂）	0
設備・環境の不具合	6
他	263
総計	445

事業所別	転倒 （未遂）	転落 （未遂）	服薬 （未遂）	食事提供 ミス（未遂）	異食 （未遂）	在宅酸素 ミス（未遂）	対人トラブ ル（未遂）
小規模特養	1	2	1	0	6	0	0
ショートステイ	5	1	3	0	0	0	0
グループホーム	20	5	2	0	0	0	0
介護付有料	48	77	3	0	1	1	0
総計	74	85	9	0	7	1	0

事業所別	誤嚥 （未遂）	胃チューブ 抜去（未遂）	設備環境 の不具合	他	計
小規模特養	0	0	5	173	188
ショートステイ	0	0	0	76	85
グループホーム	0	0	0	1	28
介護付有料	0	0	1	13	144
総計	0	0	6	263	445

IV受診及び市事故報告提出の内訳

事業所	発生日	内容	受診	市報告	受診結果	入院の有無
介護付有料	4月11日	転倒	4/11	4/13	恥骨骨折	
グループホーム	4月14日	転倒	4/14	4/15	右足第一指突き指	
グループホーム	4月26日	転倒	4/27	4/28	腰椎圧迫骨折	
ショートステイ	5月28日	転倒	5/28	5/28	異常なし	
介護付有料	5月29日	転倒	5/30	6/1	異常なし	
グループホーム	5月30日	転倒	6/1	6/4	臀部打撲・肺炎	入院

介護付有料	6/21・6/22	転倒	6/23	6/23	異常なし	
介護付有料	6月24日	転倒	6/24	6/26	打撲、擦過傷	
小規模特養	7月13日	内出血	7/14	7/18	右手指骨折	
介護付有料	7月29日	転倒	7/29	7/30	異常なし、7/31肺炎で他病院入院時に左大腿骨骨折と分かる。	
ショートステイ	9月22日	転倒	9/22	9/23	左腕打撲	
介護付有料	10月21日	転倒	10/21	10/22	左側肋骨第7番目骨折	
グループホーム	11月6日	転倒	11/7	11/8	腰椎圧迫骨折	
小規模特養	11月13日	骨折	11/13	11/16	右膝骨折	
小規模特養	11月3日	転倒	11/3	11/5	異常なし	
小規模特養	11月14日	裂傷	11/14	11/16	裂傷部4針縫合	
介護付有料	11月28日	転倒	11/28	11/30	左眉上2cm裂傷	
小規模特養	12月14日	転倒	12/15	12/18	右大腿部頸部骨折、重症肺炎、重症心不全	
小規模特養	12月15日	誤嚥	12/15	12/18	肺炎・心不全	
小規模特養	3月3日	転落	3/3	3/4	異常なし	
グループホーム	3月7日	転倒	3/7	3/9	異常なし	
介護付有料	3月11日	転倒	3/12	3/12	左大転子部打ち身	
グループホーム	3月20日	転倒	3/22	3/22	異常なし	

※)管轄の松山市については、介護事故報告は受診したものの全てについて提出指示

※)事業所判断で、受診はしていないが、報告した内容を含む(原因不明による怪我、服薬ミスなど)

	受診件数	市報告件数
グループホーム	6	6
小規模特養	7	7
ショートステイ	2	2
介護付有料	8	8
総計	23	23

(考察)

ヒヤリハットの件数が昨年度よりも大幅に増加している。転倒から骨折・入院につながるケースも多く、今後の課題と考える。

事故防止委員会の活動が、コロナウイルス感染症の影響で実施できておらず、事故及びヒヤリハットの分析や対策について話し合う機会がとれていないので、次年度は重大事故につながるケースの再確認の徹底に努めていきたい。

9.行事・施設内研修・実習等受入の状況

	全体行事等	各事業所行事	実習等受入
4	入職式 建物1年点検	[特]お花見弁当を食べよう/花見散歩 [GH]花見散歩 [有]お花見弁当	
5	町内清掃(久米地区) 運営推進会議	[特]若葉昼食会/おやつ作り(プリン)/ 龍神社参拝外出 [GH]芋の苗植え [有]おやつ作り	
6	夏期人事考課	[特]映画鑑賞/風船バレー大会/おやつ作り(わらび餅、コーヒー牛乳プリン) [有]おやつ作り(冷やしぜんざい)	
7	運営推進会議 防災勉強会	[特]七夕飾り作り [有]スイカ割り、歌謡ショー	河原医療大学校看護科
8	入居者レントゲン検査	[特]夏祭り/すいか割り [GH]夏まつり [有]夏まつり	
9	運営推進会議 消防訓練	[特]芋炊き/ボーリング大会/おやつ作り(チョコフォンデュ) [GH]敬老会 [GH]外部評価 [有]敬老会	
10		[特]ミニ運動会/月見団子作り/龍神社参拝外出/おやつ作り(スイートポテト) [GH]]運動会 [有]芋炊き、ミニ運動会	
11		[特]クリスマス飾り作り/おやつ作り(フレントースト)/第2回ボーリング大会 [有]おやつ作り [GH]やきいも作り	
12	冬期人事考課 餅つき 防災訓練(シェイクアウトえひめ) 夜間緊急時通報訓練 介護情報サービス公表調査 運営推進会議	[特]忘年会/クリスマス会/百寿誕生会 [GH]干し柿作り [GH]忘年会/クリスマス会 [有]忘年会、クリスマス会	
1		[特]新年会/お正月各種行事/おやつ作り(フレンチトースト) [GH]初詣散歩/新年会	

		[有]初詣(龍神社)、新年会	
2		[特]豆まき/バレンタインチョコタワー/ おやつ作り(カップケーキ、チョコプリン) [GH]節分豆まき/バレンタインチョコタワー [有]節分豆まき、おやつ作り	
3		[特]ひなまつり/どら焼き作り [GH]ひなまつり/おはぎ作り [有]ひな祭り	

他	通年		委員会活動	
	各事業所での誕生日会(昼食会) 各事業所でのイベント食(昼食会) おやつ・お茶の時間 レクリエーション(散歩・体操・音楽・風船バレーなど) 訪問理美容(3か所) 訪問マッサージ(随時) 訪問歯科診療(随時) 医師の回診 嘱託医2名 訪問販売(とくし丸、パン)		運営委員会 安全(事故防止)委員会 衛生管理委員会 身体拘束廃止委員会 高齢者虐待防止委員会 給食委員会 権利擁護・苦情相談委員会 入所判定委員会 各事業所スタッフ会議	
	ボランティア等			
	[個人:定期] 新型コロナウイルス感染予防 の為に中止	[団体:定期] 新型コロナウイルス感染予防 の為に中止	[個人:随時] 新型コロナウイルス感染予防 の為に中止	[団体:随時] 新型コロナウイルス感染予防 の為に中止

10.施設内、施設外研修の状況

【施設内研修】

	研修名	参加人数		研修名	参加人数
4	身体拘束虐待防止研修(新任研修)	6名(書面開催)	10	新型コロナウイルス感染者発生想定訓練	17名
5	第1回身体拘束虐待防止研修	75名(書面開催)		ピラティス・シーティング研修	10名(オンライン)
6	衛生管理:食中毒	76名(書面開催)		看取り介護研修	79名(書面開催)
7	防災勉強会(風水害)	14名	11	第2回身体拘束虐待防止研修	80名(書面開催)
8	第1回防護具着脱訓練	5名		新型コロナウイルス感染症勉強会	10名(オンライン)
	第2回防護具着脱訓練	13名	12	新型コロナウイルス感染症勉強会	11名(オンライン)
	第1回基礎介護(円背食事)	7名(オンライン)		介護報酬改定勉強会	5名(オンライン)
9	第2回基礎介護(円背食事)	9名(オンライン)		消防訓練(消火・通報・避難・地震・水害)	150名
	新型コロナウイルス感染症対策研修	12名	1	新型コロナウイルス感染症勉強会	11名(オンライン)
	第1回リスクマネジメント研修	78名(書面開催)	2	感染症対策勉強会	70名(動画研修)
	新任職員対象基礎介護勉強会	9名	3	第2回リスクマネジメント研修	78名(書面開催)
	消防訓練(消火・通報・避難)	40名			

【施設外研修】

研修項目	全体		GH		小規模特養/SS		介護付有料	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
介護								
看護・保健・医療								
防災・防犯								
人材育成・マネジメント								
専門(スキル向上・資格等)			1	1				
行政(介護保険・制度他)								
財務会計								
人事・労務管理								
小計	0	0	1	1	0	0	0	0

研修項目	デイサービス		居宅介護支援		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数計	人数計
介護			1	1		
看護・保健・医療						
防災・防犯						
人材育成・マネジメント						
専門(スキル向上・資格等)			11	15		
行政(介護保険・制度他)						
財務会計						
人事・労務管理						
小計	0	0	12	16	13	17

11.職員の状況

部門等	前年度末	令和2年度当初				令和2年度中の状況			令和2年度末	常勤換算
		退職 (R2.3.3 1付)	入職 (R2.4.1 付)	異動 (R2.4.1 付)	職員計	入職	異動	退職		
グループホーム	16	0	0	0	16	0	0	0	16	14
特養/短期	39	-1	2	-1	39	7	0	-5	41	34.4
(介護職)	25	-1	1	0	25	3	0	-2	26	22.4
(看護職)	3	0	0	0	3	1	0	0	4	3.3
(その他)	11	0	1	-1	11	3	0	-3	11	8.7
介護付有料	19	0	1	0	20	4	0	-3	21	16.4
(介護職)	14	0	1	0	15	3	0	-2	16	11.3
(看護職)	2	0	0	0	2	0	0	0	2	2
(その他)	3	0	0	0	3	1	0	-1	3	3.1
デイサービス	8	0	0	0	8	1	0	-1	8	6.4
居宅	2	0	0	0	2	0	0	0	2	2
計	84	-1	3	-1	85	12	0	-9	88	78.2

※) 育児休業者(2名)は常勤換算には含めず

医師等嘱託契約者の数は上記に含めず

【医師2名、歯科衛生士1名、作業療法士2名(デイ/特養/介護付有料)】

12. サービス別 利用状況一覧

小規模特別養護老人ホーム		定員29名・3ユニット (ユニット定員10名 ※1ユニットのみ9名)											
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
総計	平均要介護	4.4	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.41
	延べ利用人数	851	854	853	889	890	832	856	826	851	825	783	10,115
	平均利用人数/1日	28.37	27.55	28.43	28.68	28.71	27.73	27.61	27.53	27.45	26.61	27.96	27.71
	稼働率	97.8%	95.0%	98.0%	98.9%	99.0%	95.6%	95.2%	94.9%	94.7%	91.8%	96.4%	89.5%

ショートステイ		定員10名・1ユニット (ユニット定員10名)												
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
要介護	利用実人数	17	15	16	19	18	22	26	24	26	29	26	26	22.0
	利用延べ人数計	225	246	238	235	263	267	259	232	228	223	245	247	2,908
	平均要介護	2.4	2.3	2.5	2.2	2.3	2.5	2.6	2.5	2.3	2	2	2.1	2.31
	平均利用人数/1日	7.50	7.94	7.93	7.58	8.48	8.90	8.35	7.73	7.35	7.19	8.75	7.97	7.97
要支援	利用実人数	0	0	0	1	2	1	1	2	1	1	1	1	0.9
	利用延べ人数計	0	0	0	3	7	4	4	6	4	4	4	4	65
	平均要介護	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
	平均利用人数/1日	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2
総計	平均要介護	2.4	2.3	2.5	2.1	2.2	2.4	2.6	2.5	2.3	2	2	2.1	2.28
	延べ利用人数	225	246	238	238	270	271	263	238	232	227	249	251	2,948
	平均利用人数/1日	7.50	7.94	7.93	7.68	8.71	9.03	8.48	7.93	7.48	7.32	8.89	8.10	8.08
	稼働率	75.0%	79.4%	79.3%	76.8%	87.1%	90.3%	84.8%	79.3%	74.8%	73.2%	88.9%	81.0%	80.8%

グループホーム		定員18名・2ユニット (ユニット定員9名)												
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	366	
総計	平均要介護	2.6	2.6	2.7	2.6	2.6	2.6	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	2.71	
	延べ利用人数	511	546	487	504	503	510	548	538	553	558	504	551	6,313
	平均利用人数/1日	17.03	17.61	16.23	16.26	16.23	17.00	17.68	17.93	17.84	18.00	18.00	17.77	17.25
	稼働率	94.6%	97.8%	90.2%	90.3%	90.1%	94.4%	98.2%	99.6%	99.1%	100.0%	100.0%	98.7%	95.8%

